

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特許公報(B2)

(11) 特許番号

特許第5642867号
(P5642867)

(45) 発行日 平成26年12月17日(2014.12.17)

(24) 登録日 平成26年11月7日(2014.11.7)

(51) Int.Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F 1

A 6 3 F 7/02 3 2 8
A 6 3 F 7/02 3 5 2 F
A 6 3 F 7/02 3 5 2 L

請求項の数 1 (全 65 頁)

(21) 出願番号 特願2013-259895 (P2013-259895)
 (22) 出願日 平成25年12月17日 (2013.12.17)
 (62) 分割の表示 特願2009-7293 (P2009-7293)
 分割
 原出願日 平成21年1月16日 (2009.1.16)
 (65) 公開番号 特開2014-138752 (P2014-138752A)
 (43) 公開日 平成26年7月31日 (2014.7.31)
 審査請求日 平成25年12月17日 (2013.12.17)

(73) 特許権者 000144153
 株式会社三共
 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
 (74) 代理人 100098729
 弁理士 重信 和男
 (74) 代理人 100116757
 弁理士 清水 英雄
 (74) 代理人 100123216
 弁理士 高木 祐一
 (74) 代理人 100163212
 弁理士 溝渕 良一
 (74) 代理人 100173048
 弁理士 小椋 正幸
 (74) 代理人 100148161
 弁理士 秋庭 英樹

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】遊技用システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者に対して発行される遊技用記録媒体として、登録した会員に対して発行される会員用遊技用記録媒体または会員でない不特定な遊技者に対して発行される一般用遊技用記録媒体を受付けて、該受付けた遊技用記録媒体に記録されている記録媒体識別情報の読み出しを行う記録媒体読出部、及び前記遊技用記録媒体のうちの一般用遊技用記録媒体を貯留するための遊技用記録媒体貯留部を有し、該遊技用記録媒体貯留部に貯留している一般用遊技用記録媒体を振分け先の一般用遊技用記録媒体として発行する記録媒体処理手段と、前記記録媒体読出部により読み出した記録媒体識別情報を送信する記録媒体識別情報送信手段と、該記録媒体識別情報から特定される所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理を行う使用処理手段と、遊技媒体を計数するための計数手段と、を備え、遊技機に対応して設けられた遊技用装置と、

前記遊技用装置とデータ通信可能に接続され、記録媒体識別情報に対応付けて所有遊技媒体数を管理する管理装置と、

から成る遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

前記計数手段にて計数された計数遊技媒体数の少なくとも一部である振分け遊技媒体数を他の遊技者の所有遊技媒体数として振分けるための振分け操作を受付ける振分操作受付け手段と、

該振分け操作の受付けに応じて、前記振分け遊技媒体数を特定可能な情報と、振分け元

の遊技用記録媒体から前記記録媒体読出部により読み出した振分け元の記録媒体識別情報と、発行する振分け先の一般用遊技用記録媒体から前記記録媒体読出部により読み出した振分け先の記録媒体識別情報を送信する振分け要求送信手段と、

振分け先の前記一般用遊技用記録媒体を排出する旨を報知する報知手段と、
を備え、

前記管理装置は、

前記振分け要求送信手段から送信された振分け元の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数から前記振分け遊技媒体数を減算更新する処理と、前記振分け要求送信手段から送信された振分け先の記録媒体識別情報を記憶する処理と、該振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて前記振分け遊技媒体数を記憶するための処理とを含む振分け処理を行う振分け処理手段と、

前記記録媒体識別情報送信手段から送信されてくる記録媒体識別情報が、当該管理装置に記憶されている振分け先の記録媒体識別情報に一致するか否かを判定し、一致することを条件に該振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記振分け遊技媒体数の使用を可能にする使用可能化処理を実行する使用可能化処理手段と、
を備え、

前記使用処理手段は、前記使用可能化処理手段により使用可能化処理が行われたことを条件に、前記振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記振分け遊技媒体数を遊技に使用するための処理を行うことを特徴とする遊技用システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、遊技者が所有する所有遊技媒体を、他の遊技者に振分けることのできる遊技用システムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、遊技者が所有する所有遊技媒体を、他の遊技者に振分けることのできる遊技用システムとしては、1の遊技装置にて獲得した遊技媒体の遊技媒体データを、各遊技装置に接続された管理コンピュータに登録することで、他の遊技装置においても、該遊技媒体データを共有して使用できるようにするものがある（例えば、特許文献1参照）。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献1】特開2004-141524号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、特許文献1にあっては、他の遊技装置と遊技媒体データを共有する場合には、共有する遊技者の氏名等を入力しなければならず、面倒であるばかりか、同姓同名の会員が存在する場合には、正しく共有することができなくなってしまうという問題があるとともに、これら遊技媒体データを共有するには、双方の遊技者が、共に、予め遊技場に会員登録することで会員カードの発行を受けている会員であることが必要であり、会員カードを持しない一般的の遊技者は、遊技媒体データの共有を受けることも、遊技媒体データの共有を他者とすることもできず、これら一般遊技者の共有したいという要望に応えることができないという問題もあった。

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、同一の遊技媒体データによる所有遊技媒体数を複数の遊技者にて使用できるようにする振分けを、一般的の遊技者であっても、面倒な入力を行うことなく（簡便）、且つ間違いなく（正確）実施することのできる遊技用システムを提供することを目的とする。

10

20

30

40

50

【課題を解決するための手段】**【0007】**

本発明の請求項₁に記載の遊技用システムは、

遊技者に対して発行される遊技用記録媒体（ビジターカード、会員カード）として、登録した会員に対して発行される会員用遊技用記録媒体または会員でない不特定な遊技者に対して発行される一般用遊技用記録媒体を受付けて、該受付けた遊技用記録媒体に記録されている記録媒体識別情報（カードID、持玉数データ（ビジターカードのみ））の読み出しを行う記録媒体読出部、及び前記遊技用記録媒体のうちの一般用遊技用記録媒体を貯留するための遊技用記録媒体貯留部を有し、該遊技用記録媒体貯留部に貯留している一般用遊技用記録媒体を振分け先の一般用遊技用記録媒体として発行する記録媒体処理手段（カードリーダライタ327）と、前記記録媒体読出部により読み出した記録媒体識別情報を送信する記録媒体識別情報送信手段（通信部334、制御ユニット328；カード受付け処理）と、該記録媒体識別情報から特定される所有遊技媒体数を遊技に使用するための処理（払出処理）を行う使用処理手段（制御ユニット328）と、遊技媒体（パチンコ玉）を計数するための計数手段（計数払出ユニット348）と、を備え、遊技機（パチンコ機2）に対応して設けられた遊技用装置（カードユニット3）と、

前記遊技用装置とデータ通信可能に接続され、記録媒体識別情報（カードID）に対応付けて所有遊技媒体数（持玉数（計数済玉数））を管理する管理装置（管理コンピュータ150）と、

から成る遊技用システムであって、

前記遊技用装置は、

前記計数手段にて計数された計数遊技媒体数（計数済玉数）の少なくとも一部である振分け遊技媒体数を他の遊技者の所有遊技媒体数（持玉数）として振分けるための振分け操作を受付ける振分操作受付け手段（メインメニューの「振分け」の選択入力を受付ける透明タッチパネル314）と、

該振分け操作の受付けに応じて、前記振分け遊技媒体数を特定可能な情報と、振分け元の遊技用記録媒体から前記記録媒体読出部により読み出した振分け元の記録媒体識別情報（カードID（振分け元））と、発行する振分け先の一般用遊技用記録媒体から前記記録媒体読出部により読み出した振分け先の記録媒体識別情報（カードID（振分け先））とを送信する振分け要求送信手段（Sf11、Sf12の各発行振分け処理を実施する制御ユニット328）と、

振分け先の前記一般用遊技用記録媒体を排出する旨を報知する報知手段と、
を備え、

前記管理装置は、

前記振分け要求送信手段から送信された振分け元の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数から前記振分け遊技媒体数（振分け玉数）を減算更新する処理（振分け要求に含まれるカードID（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルまたはビジターセンターテーブルに記憶されている持玉数から振分け玉数を減算する処理）と、前記振分け要求送信手段から送信された振分け先の記録媒体識別情報を記憶する処理（振分け先カードとして振分け要求に含まれるカードID（振分け先）を含む振分け履歴を振分け履歴テーブルに登録する処理）と、該振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて前記振分け遊技媒体数を記憶するための処理（カード受付け通知の受信において実施する図26の処理）とを含む振分け処理を行う振分け処理手段（CPU152）と、

前記記録媒体識別情報送信手段から送信されてくる記録媒体識別情報が、当該管理装置に記憶されている振分け先の記録媒体識別情報に一致するか否かを判定（カード受付け通知の受信時における図26の処理において、受信したカード受付け通知に含まれるカードIDと、利用受付けに「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカードIDとが一致するか否かを判定）し、一致することを条件に該振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記振分け遊技媒体数の使用を可能にする使用可能化処理を実行する使用可能化処理手段（受付け処理完了通知）と、

10

20

30

40

50

を備え、

前記使用処理手段は、前記使用可能化処理手段により使用可能化処理が行われたことを条件に、前記振分け先の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている前記振分け遊技媒体数を遊技に使用するための処理を行うことを特徴としている。

この特徴によれば、同一の遊技媒体データによる所有遊技媒体数を複数の遊技者にて使用できるようにする振分けが、振分け先遊技用記録媒体を新たに発行することにより実施されるので、会員カードを所持していない一般の遊技者であっても、これらの振分けを受けることができるばかりか、これの振分けを簡便且つ正確に実施することができる。

【0008】

本発明の手段1に記載の遊技用システムは、請求項1に記載の遊技用システムであって 10
、

前記管理装置（管理コンピュータ150）は、前記振分け要求送信手段からの送信に応じて、予め定められた所定期間（1日）において、前記振分け要求送信手段から送信された振分け元の記録媒体識別情報（カードID（振分け元））から特定される振分け元の所有遊技媒体数から振分けられた振分け遊技媒体数の合計（振分け総数（振分け元））と、前記振分け要求送信手段からの送信に応じて振分けられる振分け遊技媒体数（振分け玉数）との総数が、予め定められた上限数（制限値）を超過しているか否かを判定する超過判定手段（振分け玉数を加算した振分け総数（振分け元）が制限値を超えていいるか否かを判定するCPU152）を備え、

前記振分け処理手段は、前記超過判定手段による判定結果が超過していないとの判定結果であることを条件に、前記振分け処理を実施することを特徴としている。 20

この特徴によれば、所定期間ににおいて振分けされる振分け遊技媒体数を制限することができるので、過度に振分けが実施されることによる遊技場の不利益、例えば売上の減少等の発生を回避することができる。

【0009】

本発明の手段2に記載の遊技用システムは、請求項1、または手段1に記載の遊技用システムであって、

前記遊技用装置（カードユニット3）には、各遊技用装置を個々に識別可能な装置識別情報（装置ID）が記憶されており、前記振分け要求送信手段は、当該遊技用装置の装置識別情報を送信し、 30

前記管理装置（管理コンピュータ150）は、前記振分け要求送信手段から送信された装置識別情報を含む振分け履歴を記憶する振分け履歴記憶手段（記憶装置155；振分け履歴テーブル）と、前記遊技機の遊技情報を管理する遊技情報管理装置（ホールコンピュータ140）からの振分け履歴要求の受信に応じて、前記振分け履歴記憶手段に記憶されている振分け履歴を返信する振分け履歴送信手段（未送信の振分け履歴を特定した送信する処理を行うCPU152）とを備えることを特徴としている。

この特徴によれば、遊技情報管理装置において振分け履歴を確認することができる。

【0010】

本発明の手段3に記載の遊技用システムは、請求項1、手段1、手段2のいずれかに記載の遊技用システムであって、 40

前記振分操作受付け手段（透明タッチパネル314、502）は、振分け遊技媒体数（振分け玉数）を遊技者から受付け、

前記振分け要求送信手段は、前記振分操作受付け手段にて受付けた振分け遊技媒体数を特定可能な情報を送信し、

前記振分け処理手段は、前記振分け元の記録媒体識別情報に対応付けて記憶されている所有遊技媒体数（持玉数）が、前記振分け要求送信手段から送信された前記情報から特定される振分け遊技媒体数以上であることを条件に、前記振分け処理を実施することを特徴としている。

この特徴によれば、遊技者は、所望する遊技媒体数を振分けることができる。

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】本発明の実施例における遊技用システムの全体像を示すシステム構成図である。

【図2】本発明の実施例の遊技用システムに用いたパチンコ機2、カードユニット3を示す正面図である。

【図3】本発明の実施例において用いたカードユニット3の構成を示すブロック図である。

【図4】本発明の実施例のカードユニット3に用いたカードリーダライタ327の構成を示す上面視断面図である。

【図5】本発明の実施例において用いたカードユニット3の突出部305を示す図である。

10

【図6】本発明の実施例において用いた連結ボックス340を示す外観斜視図である。

【図7】本発明の実施例のカードユニット3の側面図である。

【図8】(a)～(d)は、本発明の実施例のカードユニット3に用いた計数払出ユニット348内部における流路とパチンコ玉の流下状況とを説明する図である。

【図9】(a)は、本発明の実施例において用いたカードユニット3のカードテーブルを示す図であり、(b)は、本発明の実施例において用いたカードユニット3の遊技情報テーブルを示す図であり、(c)は、本発明の実施例において用いた会員遊技情報を示す図である。

【図10】本発明の実施例において用いたカードユニット3から送信される送信データ列を示す図である。

20

【図11】本発明の実施例において用いた振分け装置5の外観斜視図である。

【図12】本発明の実施例において用いた振分け装置5の構成を示すブロック図である。

【図13】本発明の実施例において用いたシステムコントローラ100の構成を示すブロック図である。

【図14】(a)は、本発明の実施例において用いたシステムコントローラ100における会員カードテーブルを示す図であり、(b)は、ビジターカードテーブルを示す図である。

【図15】本発明の実施例において用いた管理コンピュータ150の構成を示すブロック図である。

【図16】(a)は、本発明の実施例において用いた管理コンピュータ150における会員貯蓄管理テーブルを示す図であり、(b)は、ビジター貯蓄管理テーブルを示す図である。

30

【図17】本発明の実施例において用いたユニット管理テーブルを示す図である。

【図18】本発明の実施例において用いた振分け履歴テーブルを示す図である。

【図19】(a)は、本発明の実施例において用いた管理コンピュータ150における会員情報テーブルを示す図であり、(b)は、会員別遊技履歴テーブルを示す図である。

【図20】本発明の実施例において用いた管理コンピュータ150における振分け設定画面を示す図である。

【図21】本発明の実施例において用いたカードユニット3において実施される処理内容を示すフロー図である。

40

【図22】本発明の実施例において用いたカードユニット3において実施される計数センサ信号処理の処理内容を示すフロー図である。

【図23】本発明の実施例において用いたカードユニット3において実施される払出処理の処理内容を示すフロー図である。

【図24】本発明の実施例において用いたカードユニット3において実施される振分け処理の処理内容を示すフロー図である。

【図25】(a)、(b)は、本発明の実施例におけるカードユニット3または振分け装置5と管理コンピュータ150との情報の授受を示す図である。

【図26】本発明の実施例におけるカードユニット3と管理コンピュータ150との情報の授受を示す図である。

50

【図27】本発明の実施例におけるホールコンピュータ140と管理コンピュータ150との情報の授受を示す図である。

【図28】(a)～(g)は、本発明の実施例におけるカードユニット3の表示部312の表示内容を示す図である。

【図29】(a)～(d)は、本発明の実施例におけるカードユニット3の表示部312の表示内容を示す図である。

【図30】本発明のその他の形態の遊技用装置となるカードユニット3'を示す正面図である。

【発明を実施するための形態】

【0012】

本発明の実施例を以下に説明する。

10

【実施例】

【0013】

本発明の遊技用システムの実施例を図面に基づいて説明すると、先ず図1は、本発明の実施例の遊技用システムの全体像を示すシステム構成図であり、遊技場内に複数配置される各遊技島（図示略）に並設される遊技機であるカードリーダ式パチンコ機（以下パチンコ機と略称する）2と、パチンコ機2の所定側の側方位置に該パチンコ機2に対して1対1に対応設置され、会員登録をしていない一般の遊技者に対して発行される遊技用記録媒体であるプリペイド機能を備えるビジターカードや、該遊技機に会員登録した会員遊技者に対して発行される遊技用記録媒体である会員カードを受付けて、遊技機における遊技に使用される遊技媒体であるパチンコ玉を貸し出すための処理や、対応するパチンコ機2における遊技にて獲得されたパチンコ玉を計数するとともに、該計数済みのパチンコ玉数の範囲内のパチンコ玉の払出し（返却）を行うカードユニット3と、カードユニット3にて使用されるビジターカードや会員カード並びにカードユニット3の管理等を行うシステムコントローラ100と、各カードユニット3において計数された計数済玉数の管理や、会員カードを所持する会員遊技者が再度の遊技に使用可能に所有する貯蓄玉数やビジターカードに記録された持玉数の管理を行う管理コンピュータ150と、遊技場内に設置された各パチンコ機2の台データ等の遊技情報を管理する本発明の遊技情報管理装置となるホールコンピュータ140と、遊技場内の景品カウンタの近傍位置等の遊技場内の所定位置に設けられ、会員カードの貯蓄玉数やビジターカードの持玉数を、他のビジターカード或いは会員カードに振分ける振分け装置5と、遊技場内の景品カウンタに設けられて景品交換を行うための景品交換用POS端末170と、から主に構成されている。

20

【0014】

そして、これら本実施例の遊技用システムを構成する各装置は、図1に示すように、ハブ（HUB）7並びに通信ケーブル8を介して双方向のデータ通信が可能に接続されていて、各接続機器にはそれぞれローカルIPアドレスが付与されてローカルエリアネットワーク（LAN）が形成されており、該ローカルエリアネットワーク（LAN）に接続されているこれら各装置には、当該装置を個々に識別可能な装置IDが付与されているとともに、各装置が装置（ユニット）IDとローカルIPアドレスとが対応付けられたIPアドレステーブルや後述するユニット管理テーブル（図17参照）等を有することで、該装置（ユニット）IDから特定される各ローカルIPアドレスを送信データに付与して送受信することにより、互いにデータの送受を実施できるようになっている。

30

【0015】

尚、本実施例のシステムコントローラ100は、上述したように、各会員カード並びに各ビジターカードに残存するプリペイド残額（遊技用価値）を管理しているとともに、通信回線11を介して、これら会員カードやビジターカードを管理する遊技場外のカード管理会社に設置された管理サーバ12と双方向のデータ通信を実施できるように接続されていて、これら管理サーバ12に対してシステムコントローラ100から、各種の管理情報が送信されることにより、カード管理会社は、該管理サーバ12にて各遊技場の会員カード並びにビジターカードによる売り上げ等を把握できるようになっている。

40

50

【0016】

また、本実施例のホールコンピュータ140には、図1に示すように、遊技場内を監視するための監視カメラシステムが接続されており、該監視カメラシステムにて撮像された遊技場内の監視画像が、各パチンコ機2の台データ等とともに記憶、管理されるようになつていて。尚、これらホールコンピュータ140にて管理される各パチンコ機2の台データ等の遊技情報は、後述するように、各パチンコ機2に対応するカードユニット3から送信される送信データにより最新の情報に更新されるようになっている。

【0017】

また、カードユニット3とパチンコ機2とは、図3に示すように、貸出単位として予め定められた複数個（本実施例では25個）のパチンコ玉の貸出に伴う各種の信号、具体的には、パチンコ機2から出力される台端末貸出完了信号（EXS）や台READY信号（PRDY）、制御ユニット328より出力されるカードユニットREADY信号（BRDY）や台端末貸出要求完了確認信号（BRQ）（図中、貸出関連データ）を送受可能に接続されているとともに、該パチンコ機2から出力される後述する大当たり信号、確変中信号、時短中信号、賞球信号、始動信号が入力可能に接続されている。

10

【0018】

はじめに、本実施例に用いた遊技機であるパチンコ機2について、以下に簡単に説明すると、該パチンコ機2は、図2に示すように、額縁状に形成されたガラス扉枠22を有し、該ガラス扉枠22の下部表面には打球供給皿23がある。打球供給皿23の上面所定箇所には、操作部14が設けられているとともに、打球供給皿（上皿）23の下部には、打球供給皿23から溢れたパチンコ玉を貯留する下皿24と打球を発射する打球操作ハンドル（以下操作ノブ）25とが設けられている。

20

【0019】

ガラス扉枠22の後方には、遊技盤26が着脱可能に取付けられている。また、遊技盤26の前面には遊技領域27が設けられている。この遊技領域27に向かって右側の下方領域に「特別図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される特図可変表示部28と、その中央付近には、「演出図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示されるとともに演出映像が表示される演出可変表示部29と、「普通図柄」と呼ばれる複数種類の識別情報が可変表示される可変表示装置30とが設けられている。また遊技盤26には、複数の入賞口44や通過ゲート31、始動入賞口34、可変入賞球装置36が設けられないとともに、遊技領域27の下部には、入賞しなかった打込玉を回収するアウト口46が形成されている。

30

【0020】

これら各入賞口に打玉が入賞した場合には、各入賞口に応じた賞球が図示しない玉切り払い出し装置により払い出されるとともに、該玉切り払い出し装置により払い出された賞球数に応じた賞球信号（10玉に1パルス）が外部に出力されることで、賞球数が外部に通知される。

【0021】

打球操作ノブ25の操作によって揺動されるハンマー（図示略）によって発射された打球は、打球レールを通って遊技領域27に入り、その後、遊技領域27を流下していく。この際、発射勢いが弱すぎて前記遊技領域27に達しなかったパチンコ玉は、環流経路（図示略）を通じて下皿24に環流されるようになっている。

40

【0022】

また、遊技領域27に打ち込まれた打込玉が通過ゲート31を通過すると、可変表示装置30に停止表示されている普通図柄が可変開始する。

【0023】

可変表示装置30の可変表示動作後の表示結果が予め定められた特定の表示結果（たとえば ）となった場合に、始動入賞口34に設けられた可動片35が所定時間開成して遊技者にとって有利な状態となる。

【0024】

50

また、始動入賞口 3 4 にパチンコ玉が入賞すると、特図可変表示部 2 8 において全特別図柄が可変表示（変動表示）を開始するとともに、演出可変表示部 2 9 において演出表示が開始される。そして、その後、特図可変表示部 2 8 における特別図柄が停止し、その停止表示結果が予め定められた特定の表示態様となった場合には、演出可変表示部 2 9 における左、中、右の演出図柄の可変表示も停止し、その演出図柄の表示態様も予め定められた特定の表示態様（たとえば 7 7 7）とされることで、特定遊技状態（大当たり状態）が発生するとともに、大当たり中信号が出力状態とされることで、該大当たりの発生が外部に通知される。

【 0 0 2 5 】

また、特図可変表示部 2 8 における特別図柄が停止したときに、所定パルス幅の始動信号が出力され、特図可変表示部 2 8 における特別図柄の可変表示（変動表示）が実施されたことが外部に通知される。10

【 0 0 2 6 】

このように大当たり状態が発生した場合には、可変入賞球装置 3 6 に設けられた開閉板 4 0 が開成して遊技者にとって有利な第 1 の状態となる。この第 1 の状態は、所定期間（たとえば 3 0 秒間）の経過または打玉の所定個数（たとえば 1 0 個）の入賞のうちいずれか早い方の条件が成立することにより終了し、その後、遊技者にとって不利な第 2 の状態となる。

【 0 0 2 7 】

そして該第 1 の状態となっている可変入賞球装置 3 6 の大入賞口内に進入した打玉が特定入賞領域（V ポケット）に入賞して図示しない V カウントスイッチにより検出されれば、その回の第 1 の状態の終了を待って前記第 2 の状態から前記第 1 の状態に制御する繰返し継続制御が行なわれる。この繰返し継続制御の上限回数は例えば 1 5 回と定められている。20

【 0 0 2 8 】

特図可変表示部 2 8 の表示結果並びに演出可変表示部 2 9 の演出図柄の表示結果が予め定められた大当たり図柄の組合せで停止表示されたときには前述したように大当たりが発生するが、これら大当たり図柄に停止表示される以前の状態において、リーチ状態が発生する場合がある。

【 0 0 2 9 】

特図可変表示部 2 8 並びに演出可変表示部 2 9 で可変表示された特別図柄並びに演出図柄が所定の確率変動図柄の種類に一致した図柄の組合せで停止表示されたときには、前記繰返し継続制御による「大当たり」の終了後に、再度大当たりとなる確率が通常の確率状態よりも高い確率状態となる確率変動状態となるようになっており、これら確率変動図柄での大当たりを通常の大当たりと区別して「確変大当たり」と呼称し、これら確変大当たり終了後における確率変動状態中において、確変中信号が出力状態とされることで、該確率変動状態の発生が外部に通知される。30

【 0 0 3 0 】

また、特図可変表示部 2 8 並びに演出可変表示部 2 9 で可変表示された特別図柄並びに演出図柄が所定の確率変動図柄以外の図柄の組合せで停止表示されたときには、前記繰返し継続制御による「大当たり」の終了後に、特図可変表示部 2 8 並びに演出可変表示部 2 9 で可変表示が所定回数に達するか或いは次の大当たりが発生するまでの間、特図可変表示部 2 8 における特別図柄および演出可変表示部 2 9 における演出図柄の可変表示時間（変動時間）が通常遊技状態よりも短縮される時短状態となるようになっており、これら時短状態中において、時短中信号が出力状態とされることで、該時短状態の発生が外部に通知される。40

【 0 0 3 1 】

本実施例のパチンコ機 2 には、これら各信号を外部出力するための図示しない情報出力基板が搭載されており、該情報出力基板とカードユニット 3 とが、図示しない信号ケーブルを介して接続されており、情報出力基板からは、大当たり中信号、確変中信号、時短中信50

号、始動信号、賞球信号からなる外部出力信号が、信号ケーブルを介してカードユニット3に出力される。

【0032】

ここで、大当り中信号は大当り状態の期間中において出力状態とされる信号であり、確変中信号は確変状態の期間中においてのみ出力状態とされる信号であり、時短中信号は時短状態の期間中においてのみ出力状態とされる信号であり（貸出関連データ）、始動信号は、特図可変表示部28の表示結果が全て導出表示されて可変表示が終了した際に出力される所定幅のパルス信号であり、賞球信号は、所定玉数（本実施例では10玉）が払い出される毎に出力される所定幅のパルス信号である。

【0033】

本実施例のパチンコ機2には、該パチンコ機2における遊技を制御する遊技制御基板から、入賞に基づいて出力される賞球信号に基づいて所定数の賞球を計数して払出す制御を行うとともに、通常のCR機と同じく、カードユニット3より入出力される信号に基づいて、貸出単位である25球のパチンコ玉を計数して貸出す制御を行う図示しない賞球制御基板を備えており、該貸出単位である25球の倍数のパチンコ玉の貸出を実施できるようになっている。

【0034】

次に、本実施例にて使用されるビジターカードと会員カードについて、簡潔に説明すると、本実施例に使用されるビジターカード並びに会員カードには、種々のデータを記憶するための不揮発性メモリと、これら記録情報の書き換えや読み出しを実施するとともに、外部のリーダライタ装置との非接触通信を実施する制御部とを有するICチップが搭載されたICカードを使用しており、これらビジターカード並びに会員カードには、個々のカードを識別可能なカードID、具体的には、ビジターカードにはVCで始まるカードIDが、会員カードには、KCで始まる会員カードIDが予め書き換え不能に記憶されていて、その種別がカードIDから識別可能とされているとともに、プリペイド残額を特定可能なプリペイド残額データや、振分けの有無を特定可能な振分けフラグ（「1」が振分け有りを示し、「0」が振分け無しを示す）等の各種データが記憶されている。

【0035】

尚、会員カードは、遊技場に会員登録を実施した会員遊技者に対して発行されるものであり、該会員に対して付与される会員IDが書き換え不能に記憶されている。また、該会員カードを使用して会員遊技者は、後述するように、一度獲得して計数したパチンコ玉を、その翌日以降においても再度遊技に使用できる貯玉を行うことができるようになっているが、これら会員カードには、該貯玉のデータである貯玉数は直接記録されておらず、これら貯玉数は、後述するように、管理コンピュータ150において、会員カードIDと会員IDとに対応付けて記憶されることで、該会員カードIDや会員IDから特定されるようになっている。

【0036】

また、ビジターカードは、遊技場内に設置された図示しないカード発行・入金機にて、購入、発行されるとともに、カードユニット3においても発行される。尚、ビジターカードには、該ビジターカードを所有する遊技者が計数した計数済玉数に基づく持玉数と日付とが記憶されており、該持玉数をその当日においてのみ、遊技場内の各カードユニット3において使用できるようになっている。

【0037】

次に、本実施例のカードユニット3について、図2～図10に基づいて以下に説明すると、本実施例のカードユニット3の前面には、図2に示すように、フルカラーLEDにより構成されて複数の色に点灯することでカードユニット3の状態等を報知可能とされた多機能ランプ301等の各種表示部、紙幣を挿入するための紙幣挿入口302、装置前面より装置前方側に突出形成された突出部305、計数済玉数を払出すための計数払出操作を受付けるための払出ボタン311、会員カードやビジターカードを挿入するためのカード挿入口309が設けられている。

10

20

30

40

50

【 0 0 3 8 】

カードユニット3の前面に設けられたカード挿入口309は、該カード挿入口309に対応する位置に内蔵されるカードリーダライタ327(図7参照)のカードスロット392に連設されており、このカード挿入口309を介してビジターカードや会員カードをカードスロット392に挿入可能とされている。

【 0 0 3 9 】

カードユニット3の前面には、前方に突出する態様にて突出部305が設けられている。該突出部305において、遊技者と対向する面には、図2並びに図5に示すように、各種情報を表示可能な表示部312と、メインメニュー画面を表示させるためのメニューボタン316と、台データを表示させるための台データボタン318と、会員カードを受付けた場合において、該会員カードに記録された会員カードID並びに会員IDにより特定される貯玉数を用いた再プレイ遊技を実施するための再プレイボタン319と、再プレイボタン319の操作が有効であることを報知するための再プレイ表示部320と、遊技場の係員が所持するリモコン(図示略)からの赤外線信号を受信して電気信号に変換して出力するIR受光ユニット315とが設けられており、該表示部312の表面には、表示部312に表示された各表示項目を指触により入力可能とするための透明タッチパネル314が設けられている。

10

【 0 0 4 0 】

また、該突出部305内部には、表示部312を成す後述する液晶表示器313や各ボタンに対応するスイッチが設けられており、これらが、図7に示すように、該突出部305に対応する装置内位置に設けられた表示制御基板329に接続されることで、液晶表示器313の表示制御や、透明タッチパネル314による入力位置検出等が、該表示制御基板329によって実施される。

20

【 0 0 4 1 】

カードユニット3内の上部位置には、紙幣挿入口302に連設され、該紙幣挿入口302に投入された紙幣を取り込んでその真贋や紙幣種別の識別を実施し、その識別結果を装置略中央部に設けられている後述する制御ユニット328に出力する紙幣識別ユニット321が設けられており、該紙幣識別ユニット321にて各種紙幣(1万円、5千円、2千円、千円の各紙幣)の受付が可能とされている。

【 0 0 4 2 】

30

また、カードユニット3の略中央部位置には、該カードユニット3を構成する各部と接続しやすいように該カードユニット3の動作を制御する制御ユニット328が設けられており、後述するように、該制御ユニット328によって該カードユニット3の各種の動作が制御されている。

【 0 0 4 3 】

また、カードユニット3の最下方位置には、図7に示すように、パチンコ玉を計数し、該計数したパチンコ玉を最大端数分だけ貯留するとともに、端数のパチンコ玉を計数して払出す計数払出ユニット348が設けられている。

【 0 0 4 4 】

40

尚、本実施例のカードユニット3は、図7に示すように、カードユニット3本体が、その上下位置に形成されたユニットホルダ31'に係合し、該カードユニット3本体を前面方向に引き出し可能に保持するユニットホルダ31'を介して遊技島に設置されており、カードユニット3の前面下方所定位置には、図示しないシリンドラ錠が設けられていて、係員等が所持する解錠キーにより施錠を解除することでカードユニット3が引き出しできるようになっている。また、該ユニットホルダ31'には、各種接続ケーブルを中継するためのコネクタが設けられており、制御ユニット328に接続される通信ケーブル等が、該ユニットホルダ31'を介して中継接続されていて、これら通信ケーブル等が前記カードユニット3本体の引き出し時に絡まって、カードユニット3本体が引き出せなくなってしまうことがないように工夫されている。

【 0 0 4 5 】

50

図3は、本実施例のカードユニット3の構成を示すブロック図である。カードユニット3は、上述したように、主には、紙幣識別ユニット321と、カードリーダライタ327と、表示制御基板329と、カードユニット3の各部の制御を制御プログラムにより実施して該カードユニット3の各種の機能を提供する制御ユニット328とから構成されており、紙幣識別ユニット321、カードリーダライタ327及び表示制御基板329は制御ユニット328と接続されて各種データの送受が可能とされている。

【0046】

カードリーダライタ327は、カード挿入口309から挿入される会員カード並びにビジターカードに記録されている（会員）カードIDや、会員ID（会員カードのみ）、プリペイド残額データ等の記録情報の読み出し並びに書き込みを行う。

10

【0047】

本実施例に用いたカードリーダライタ327の構成を、図4を用いてより詳細に説明すると、該カードリーダライタ327の内部には、前記カード挿入口309からの会員カードやビジターカードの挿入並びに会員カードやビジターカードが挿入中であることを検知する挿入センサ397や、カード挿入口309からの新たな会員カードやビジターカードの挿入を阻止するためのシャッタの出没を行うシャッタ用ソレノイド399や、カード挿入口309から延設され、会員カードやビジターカードがスライド可能とされたガイドレール398と、該ガイドレール398を挟むように配設されてカードスロット392に挿入された会員カードやビジターカードを、カードスロット392の内方側に取り込むとともに、会員カードやビジターカードをカード挿入口309から排出する取込・排出口ーラ387'並びに該取込・排出口ーラ387'を駆動する駆動モータ386'と、取込・排出口ーラ387'によりカードスロット392の内方側に取り込まれた会員カードやビジターカードのガイドレール398上の移動を、駆動モータ386、393にて駆動回転されることにより実施する搬送ローラ387、388と、前記搬送ローラ387、388の一方側に張架された搬送ベルト391と、から成る搬送機構や、該搬送される会員カードやビジターカードを所定位置に停止させるストップピンの出没を行うソレノイド389や、所定位置に停止された会員カードやビジターカードへの給電やデータ通信を行う通信ヘッド390や、該通信ヘッド390に接続されて会員カードやビジターカードとのデータ送受の制御を行う通信基板327aと、が設けられており、挿入されている会員カードやビジターカードからのデータの読み出し及び会員カードやビジターカードへの書き込みが非接触状態にて可能とされている。

20

【0048】

本実施例のカードリーダライタ327に設けられた搬送機構を構成する搬送ローラ387は、カード挿入口309から、1枚の会員カードやビジターカードの長さ寸法とほぼ等しい距離だけ、離間されて設けられており、カード挿入口309と搬送ローラ387との間に、1枚の会員カード或いはビジターカードを滞留（保持）させたまま、通信ヘッド390に対応する所定位置に他の会員カード或いはビジターカードを停止させてデータの読み取り及び書き込みを実施できるようになっており、後述するように、振分け処理を実施する場合において、振分けにて発行するビジターカードと受付け中の会員カードをほぼ同時に連続してカード挿入口309から排出するとともに、振分けにおいて振分け先のカードを受付けた場合には、振分け先のカードを排出することなく保持したまま、振分け元のビジターカードへの書き込みを完了できるようになっている。

40

【0049】

本実施例のカードリーダライタ327に設けられている搬送ベルト391のカードユニット3の内方側終端部位置には、ビジターカードを最大10枚まで貯留できるカード貯留部370が設けられており、新規のビジターカードを発行可能とされている。

【0050】

この本実施例のカード貯留部370の内部には、図4に示すように、駆動モータ373にて駆動回転される1対の搬送ローラ371と、該搬送ローラ371に張架された搬送ベルト372と、から成るビジターカードの移動（収納、排出）を実施する搬送機構が設け

50

られるとともに、カード貯留部370内に貯留されているビジターカードを、支持板377を介して搬送ベルト372側に押圧する押圧ばね376が設けられている。

【0051】

そして、搬送機構における搬送ベルト372の略中央部には、ソレノイド374によって揺動する揺動ローラ375が設けられている。ビジターカードをカード貯留部370の内部に取り込むときに、揺動ローラ375がソレノイド374によって揺動して搬送ベルト372と当接することで、搬送ベルト372の中央部が突出し、既に貯留されているビジターカード若しくは支持板377を押圧することにより、搬送ベルト372とビジターカード若しくは支持板377との間に、新たにビジターカードを受け入れるための隙間が形成される。そのため挿入されたビジターカードをスムーズにカード貯留部370内に貯留することができるようになっており、これらビジターカードの取り込み後に揺動ローラ375が搬送ベルト372と当接しない位置まで戻ることにより、搬送ベルト372の中央部の突出が解消されて、搬送ベルト372がビジターカードの全面に当接する状態にてビジターカードが貯留され、該ビジターカードを排出するときには、搬送ベルト372に当接しているビジターカードが、搬送ベルト372を取り込みとは逆方向に移動することによって、搬送ベルト391へ排出される。10

【0052】

また、カード貯留部370内には、該カード貯留部370内に貯留されるビジターカードの枚数が1枚以下になったことを検出する光学センサによるカード補給検知センサ378が設けかれているとともに、カード貯留部370内に貯留されるビジターカードの枚数が10枚(満タン)になったことを検出する光学センサによるカード満タン検知センサ379が設けかれている。カード補給検知センサ378がビジターカードの枚数が1枚以下になったことを、ビジターカードからの光反射がないことによって検出すると、該検出信号が制御ユニット328に出力されることで、制御ユニット328によりカード補給を要求する所定の点灯態様にて多機能ランプ301が点灯されることにより、ビジターカードが足りなくなったことが店員に報知されるとともに、カード満タン検知センサ379がビジターカードの枚数が10枚(満タン)になったことを、ビジターカードからの光反射が有ることによって検出した場合には、該検出信号が制御ユニット328に出力されることで、制御ユニット328が、カード貯留部370内にビジターカードが満タンになったことを認識できるようになっており、この場合には、ビジターカードの回収を実施することなく該ビジターカードはカード挿入口309から排出される。2030

【0053】

このカード貯留部370にビジターカードを補充する場合には、係員がリモコンを操作することによりカード補充モードに移行させた状態において、残額が0のビジターカードをカード挿入口309に順次挿入することで、これら挿入されたビジターカードが、カード貯留部370に順次貯留されるようになる。

【0054】

次に、本実施例の制御ユニット328について説明すると、制御ユニット328は、図3に示すように、制御プログラムを実行可能な中央演算処理回路(CPU)328aや、カードリーダライタ327に受付け中のビジターカードや会員カードの(会員)カードID並びにプリペイド残額や、持玉数、貯蓄数、来店ポイント数、対応するパチンコ機2の台データ、遊技中の会員の遊技情報等の各種のデータを記憶可能なRAM328bや、中央演算処理回路(CPU)328aが実行する制御プログラムや、当該カードユニット3の装置IDを含む設定情報や、離席中の(会員)カードID等の各種のデータを書き換え記憶可能な不揮発性メモリであるEEPROM328cや、その時点の時刻情報やカレンダ情報等を出力可能なリアルタイムクロック(RTC)328dを含み、RAM328bは図示しない電池によりバックアップされており、電源が遮断されても、所定期間ににおいて記憶されているデータが保持される。40

【0055】

本実施例の制御ユニット328は、前述したようにパチンコ玉の貸出に伴う各種の信号50

の授受を、パチンコ機 2 に設けられている図示しない賞球制御基板との間において実施可能に接続されるとともに、前述のように、信号ケーブルを介して、パチンコ機 2 の情報出力基板と接続されることで、大当たり中信号等の各種の外部出力信号が入力可能とされている。

【 0 0 5 6 】

また、制御ユニット 328 は、対応するパチンコ機 2 の下方位置に設けられているアウト玉計数器 16 に接続されて該アウト玉計数器 16 による各計数信号が入力可能とされており、これらアウト玉計数器 16 からの計数信号の入力に応じて、後述する遊技情報テーブル（図 9（b）参照）の総打込玉数の値に該計数信号に応じた所定数を加算更新する。

【 0 0 5 7 】

また、制御ユニット 328 は、計数払出手ユニット 348 と接続されており、後述するように、該計数払出手ユニット 348 から出力される計数信号の入力に応じて、表示部 312 の下部位置に表示している計数済玉数（図 5 参照）の値を更新することで、計数・払出手ユニット 348 にて計数された玉数の総数（その時点以前に既にその当日に計数された玉数が存在する場合には、その合計となる持玉数）が計数済玉数として表示される。

【 0 0 5 8 】

また、制御ユニット 328 は、装置前面の突出部 305 の下方位置に設けられた払出手ボタン 311 に対応する払出手ボタンスイッチ 311' に接続されており、払出手ボタン 311 の操作に応じた信号が、該払出手ボタンスイッチ 311' から入力されることにより、払出手ボタン 311 の操作の有無を把握できるようになっている。

【 0 0 5 9 】

本実施例の RAM328b に記憶されているカードテーブルには、図 9（a）に示すように、カードリーダライタ 327 に挿入されたビジターカードや会員カードから読み出した（会員）カード ID や会員 ID（会員カードのみ）、（会員）カード ID 並びにプリペイド残額データに基づくプリペイド残額、カード ID 若しくは（会員）カード ID と会員 ID から特定される持玉数、（会員）カード ID と会員 ID から特定される貯玉数（会員のみ）、会員 ID から特定される来店ポイント数（会員のみ）が記憶されるようになっている。

【 0 0 6 0 】

また、RAM328b に記憶されている本実施例の遊技情報テーブルには、図 9（b）に示すように、本日を含む 3 日間の遊技情報、つまり、本日データ、前日データ、前々日データが記憶されている。尚、前日データ、前々日データは、EEPROM328c にも記憶されているが、これら前日データ、前々日データを表示する際に、EEPROM328c から読み出すよりも高速に処理できるようにするために、本実施例では、予め EEPROM328c より読み出した前日データ、前々日データを RAM328b に記憶している遊技情報テーブルに記憶しておくようにしている。

【 0 0 6 1 】

この本実施例の遊技情報テーブルには、対応するパチンコ機 2 から出力される前述した大当たり中信号、確変中信号、時短中信号の図示しない入力端子 1～3 への入力状態に基づく現在の遊技状態（本日のみ）と、最新の遊技状態データ（左のビットから順に入力端子 1～入力端子 3 の入力状態、0：LOW / 未接続、1：HIGH、本日のみ）並びに前回の遊技状態データ（最新の遊技状態データに更新される前の遊技状態データ、本日のみ）、営業開始時点からの総打込玉数、総賞球数、差玉数（総打込玉数 - 総賞球数）、総始動回数、大当たり状態の発生が識別される毎にリセットされて大当たりの発生後からの始動回数である当り後始動回数、営業開始時点からの大当たりの発生回数である大当たり回数、営業開始時点からの確変状態の発生回数である確変回数と、営業開始時点からの時短状態の発生回数である時短回数と、通常遊技状態において発生した大当たりから次に通常遊技状態となるまでに発生した大当たりの回数である連荘回数からなる遊技情報が格納されており、これら遊技情報は、入力端子に入力される大当たり中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号、アウト玉計数信号に基づいて最新の情報に更新される。

10

20

30

40

50

【 0 0 6 2 】

尚、これら遊技情報テーブルにおいて集計、管理されている本日の台データは、図10に示すように、その先頭に台データを含む送信データ列であることを示す特定のデータヘッダと、当該カードユニット3の装置IDと、対応するパチンコ機2の台番号とが付与された所定フォーマットの送信データ列として、ホールコンピュータ140からの送信要求の受信に応じて（遊技状態の変更時には、その時点で）送信される。尚、図10のECCは、エラー訂正用コードである。

【 0 0 6 3 】

また、RAM328bに記憶されている本実施例の会員遊技情報テーブルには、図9(c)に示すように、カードリーダライタ327に会員カードが挿入された時点からの遊技情報、つまり、該挿入された会員カードを所持する会員の遊技に関する遊技情報が格納されている。10

【 0 0 6 4 】

具体的には、会員が遊技を開始した開始時間（会員カードの受付け時刻）、会員が遊技を終了した終了時間（会員カードの返却時刻）、会員の遊技時間、会員が遊技を開始してからの始動回数、会員が遊技を開始してから発生した大当たり回数、会員が遊技を開始してから発生した大当たり回数、会員が遊技を開始してから発生した確変回数、会員が遊技を開始してから獲得した獲得玉数（遊技開始時の計数済玉数からの差数）、会員が遊技に使用した支出金額と、会員が遊技を開始してから再プレイに使用した再プレイ玉数と、会員が遊技を開始してから使用した持玉数とが更新記憶されており、対応するパチンコ機2で遊技中の会員遊技者が遊技を開始してからの遊技情報（台データ）を把握できるようになっている。20

【 0 0 6 5 】

また、制御ユニット328には、前述したように、対応するパチンコ機2の操作部14に設けられた残額表示器や、貸出ボタンの操作を検知する貸出ボタンスイッチや、受付け中の会員カードやビジターカードを返却させる際に操作される返却ボタンの操作を検知する返却ボタンスイッチが接続されており、貸出ボタンの操作や返却ボタンの操作を検知できるとともに、これら残額表示器の表示制御を実施する。

【 0 0 6 6 】

制御ユニット328は、リモコンからの送信に応じたIR受光ユニット315からの出力や突出部305に設けられている各種ボタンの操作やタッチパネルの操作に応じて表示制御基板329から入力される各種情報や、紙幣識別ユニット321による貨幣識別情報、並びにカードリーダライタ327からのカード挿入情報やビジターカードの貯留状態情報等を受けて、制御ユニット328に接続されている前記多機能ランプ内に設けられたフルカラーLED301a等の各LEDの点灯制御、カードリーダライタ327、表示制御基板329の制御、残額表示器の表示制御等、全体の動作制御、並びに図21に示すように、カード挿入口309に挿入された会員カードやビジターカードの利用の可／不可を判別するカード受付け処理や、受付け中の会員カード或いはビジターカードから読み出したプリペイド残額データに基づくプリペイド残額を使用した玉貸を行う貸出処理や、返却ボタンの操作により受付け中の会員カードやビジターカードの返却する返却処理や、貨幣の受付けに応じて、受付け中の会員カードやビジターカードに残存するプリペイド残額への入金、或いは新たなビジターカードにプリペイド残額を書き込んで発行する発行・入金処理や、貯玉数を用いた再プレイ処理、払出ボタン311の操作の受付けによって計数済玉数（挿入されたビジターカード並びに会員カードにより特定されるものを含む）からの払出し（返却し）て該払出した玉数を計数済玉数から減算更新する払出処理、リモコンにおける離席操作に基づく信号の受信により離席モードに移行するための離席処理、振分け操作の受付けによって計数済玉数を他の遊技者の計数済玉数として振分けする振分け処理等の各種処理を実行する。3040

【 0 0 6 7 】

また、制御ユニット328は、通信部334並びにHUB7を介して、ローカルエリア50

ネットワーク（LAN）に接続されている前述のシステムコントローラ100、ホールコンピュータ140並びに管理コンピュータ150等とデータ通信可能に接続されており、これらの各コンピュータと各種データの送受が該通信部334を通じて可能とされている。

【0068】

また、制御ユニット328に接続された表示制御基板329は、表示部312を成す液晶表示器313や、透明タッチパネル314や、各種スイッチ類（メニューボタン316に対応するメニュースイッチ316a、台データボタン318に対応する台データスイッチ318a、再プレイボタン319に対応する再プレイスイッチ319a）や、IR受光ユニット315、前述した再プレイ表示部320内に設けられたLED320a等の電子部品が接続されており、これら透明タッチパネル314の操作情報や、各種スイッチ類の操作情報、IR受光ユニット315から出力された出力信号に基づく情報が、表示制御基板329を介して制御ユニット328に出力される。10

【0069】

本実施例の表示制御基板329には、液晶表示器313の表示駆動を行う表示駆動回路（図示略）や、前記透明タッチパネル314からの出力信号に基づいて押圧操作された位置を特定して該特定した入力位置情報を出力する入力位置検出回路（図示略）や、表示部312に表示する表示映像に関する処理を行うVDP（図示略）や、メニュー表示等に使用する画像データ等を記憶するVRAM（図示略）や、表示部312に表示する表示データを一時記憶するVRAM（図示略）や、制御ユニット328から独立して、各種スイッチ類やタッチパネル等の入力に伴う判断や処理を処理プログラムに基づいて実施する表示制御マイコン等が実装されており、制御ユニット328から出力される表示データ（ページデータ）等に基づいて、各種の表示画面を、表示部312を成す液晶表示器313に表示可能とされている。20

【0070】

カードユニット3の最も下方位置（紙幣挿入口302、表示部312、並びにカード挿入口309より下）に設けられている計数払出ユニット348には、図6に示すように、パチンコ機2の下皿24と、遊技島の繕板1との間に配置される横長の箱状とされた連結ボックス340が連結されるようになっている。

【0071】

この連結ボックス340は、連結ボックス340の終端側に形成された、高さ方向の厚みが比較的大きな終端ボックス340aと、高さ方向の厚みが比較的小小さく、終端ボックス340aと計数払出ユニット348との連結部とを繋ぐように形成された経路ボックス340bとから構成されている。30

【0072】

連結ボックス340は、計数払出ユニット348に連結することで、終端ボックス340aが下皿24の下方に位置するようになっており、該終端ボックス340aの上面には、下皿24から排出されるパチンコ玉が投入されるホッパ形状とされた投入部345が形成されているとともに、終端ボックス340aの前面下部位置には、遊技者が開閉自在とされ、通常において閉状態となるように付勢されている開閉シャッタ342'を有し、計数払出ユニット348から払出（返却）される端数のパチンコ玉が排出される返却口342が設けられている。40

【0073】

また、経路ボックス340b内の上部位置には、計数払出ユニット348に向けて傾斜するように設けられ、該投入部345に投入されたパチンコ玉を自然流下にて計数払出ユニット348に導く2条の流路から成る計数通路343が設けられている。また、該計数通路343の下方位置に返却口342に向けて傾斜するように設けられ、計数払出ユニット348から払出されたパチンコ玉を自然流下にて返却口342に導く返却通路344が設けられている。

【0074】

50

尚、終端ボックス340aの前面上部位置には、遊技者がスライド操作可能とされた計数レバー341が設けられており、該計数レバー341を、付勢に抗してスライドさせることで、投入部345から計数通路343への侵入口に設けられた開閉シャッタ346が開放されるようになっている。

【0075】

連結ボックス340が連結される本実施例の計数払出ユニット348の内部には、図7並びに図8に示すように、計数通路343と連結される、カードユニット3の前面側からカードユニット3の内方側に向けて傾斜するように設けられた流入路350と、該流入路350の下方に設けられ、該流入路350に繋がるカードユニット3の内方側から、返却通路344に繋がるカードユニット3の前面側に向けて傾斜するように設けられた流出路352とを有しており、これら流入路350と流出路352とが、カードユニット3の前方側において垂直に形成された環流路351で連結されている。10

【0076】

また、流入路350の終端位置には、該流入路350内を流下するパチンコ玉を検出して計数する計数センサ354が、各条の流路毎に設けられており、計数通路343を通じて該計数払出ユニット348に流入したパチンコ玉が、該計数センサ354により検出されて計数されるようになっている。

【0077】

尚、流入路350と環流路351との分岐部には、図8に示すように、ほぼ直角に回動することで流入路350または環流路351の入口を塞ぐ流路切替え板353'と、該流路切替え板353'を回動させるための流路切替え用ソレノイド353とが設けられており、パチンコ玉の流路を流入路350または環流路351に切替えることができるようになっている。20

【0078】

また、流出路352上の該流出路352と環流路351との連結部には、図8に示すように、パチンコ玉の流下を阻止するシャッタ357と該シャッタの出没を行うシャッタ用ソレノイド358と、該シャッタ357を通過するパチンコ玉を検出する払出センサ356とが設けられており、該シャッタの上流部位置が玉貯留部355とされていて、図8(a)に示すように、計数センサ354により計数された計数済みのパチンコ玉が、該玉貯留部355に貯留されるようになっている。30

【0079】

尚、本実施例では、これら玉貯留部355に貯留できるパチンコ玉の数は、各条に12個づつ、つまり、2条で24個とされており、パチンコ機2における払出単位である25個未満の最大の端数である24個の端数玉であっても、該玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉から払出すことができるようになっている。

【0080】

また、この玉貯留部355に24個のパチンコ玉が既に貯留されている場合においては、図8(b)に示すように、計数センサ354により計数された計数済みのパチンコ玉は、玉貯留部355に流入できないので、排出路360側に流下して該排出路360を通じてカードユニット3外の遊技島内に排出される。40

【0081】

これら、図8(b)に示すように、玉貯留部355に24個のパチンコ玉が貯留されている状態において、例えば、端数として20玉の払出(返却)がなされる場合には、払出センサ356によって該20玉のパチンコ玉が計数されるまでシャッタ357が開放されて、合計で20玉のパチンコ玉が玉貯留部355から計数されて払出され、該払出されたパチンコ玉が流出路352と返却通路344を流下して返却口342に返却されて、玉貯留部355には、図8(c)に示すように、例えば、2玉×2条で合計4玉のパチンコ玉が残るようになる。

【0082】

尚、これら玉貯留部355の各パチンコ玉が存在(停止)する位置の側方部には、玉貯50

留部 355 に貯留されている各パチンコ玉を検出するための図示しない玉センサが、各パチンコ玉の停止位置毎に設けられており、その時点において玉貯留部 355 に貯留されているパチンコ玉の玉数を計数払出ユニット 348 が把握し、貯留玉数出力として外部出力できるようになっており、これら貯留玉数出力が制御ユニット 328 に入力されることで、制御ユニット 328 が、計数払出ユニット 348 にて払出（返却）が可能なパチンコ玉数を把握できるようになっている。

【 0083 】

また、計数センサ 354 によって計数を行うことができない場合には、図 8 (d) に示すように、制御ユニット 328 からの指示に基づいて流路切替え板 353' を回動させて流入路 350 を塞ぐことにより、流入路 350 に侵入したパチンコ玉が、環流路 351 と流出路 352 並びに返却通路 344 を流下して返却口 342 に返却される一方、計数を行うことができる場合には、制御ユニット 328 からの指示に基づいて流路切替え板 353' が環流路 351 の入口を塞ぐことで、該環流路 351 への入口をパチンコ球が通過できるようになることで、該通過したパチンコ玉が計数センサ 354 によって計数される。10

【 0084 】

尚、これら計数センサ 354 によって計数された場合には、1 球のパチンコ玉の検出に応じて所定パルスの検出信号が計数払出ユニット 348 から制御ユニット 328 に対して出力される。

【 0085 】

次に、本実施例の振分け装置 5 について、図 11 並びに図 12 に基づいて説明すると、振分け装置 5 は、図 11 に示すように、縦長箱状の外観を有しており、その前面には、稼働状況を報知するための稼働報知ランプ 503 と、表面に透明タッチパネル 502 を有する液晶ディスプレイからなる表示装置 501 と、振分け元のビジターカード或いは会員カードが挿入される第 1 カード挿入口 504 と、該第 1 カード挿入口 504 に対応して設けられ、該第 1 カード挿入口 504 からのカードの排出等を点滅等により報知する第 1 挿入口 LED 506 と、振分け先のビジターカード或いは会員カードが挿入されるとともに、新たな振分け先のビジターカードが発行される第 2 カード挿入口 505 と、該第 2 カード挿入口 505 に対応して設けられ、該第 2 カード挿入口 505 からのカードの排出等を点滅等により報知する第 2 挿入口 LED 507 とが設けられている。20

【 0086 】

表示装置 501 には、振分け装置 5 の操作案内が表示されて、該操作案内に沿ってカードの挿入や、メニューの選択を実施することで、簡単に振分けを実施できるようになっている。

【 0087 】

図 12 は、本実施例の振分け装置 5 の構成を示すブロック図であり、装置内部には、前述したカードユニット 3 に内蔵されているカードリーダライタ 327（図 4 参照）とほぼ同じ構成とされた第 1 カードリーダライタ 508 が、第 1 カード挿入口 504 に臨むように設けられているとともに、カードリーダライタ 327（図 4 参照）と同じ構成とされた第 2 カードリーダライタ 509 が、第 2 カード挿入口 505 に臨むように設けられている。40

【 0088 】

尚、第 2 カードリーダライタ 509 は、前述のカードリーダライタ 327 と同様に、発行するビジターカードを貯留するカード貯留部 370 を有していて、新たに振分け先のビジターカードを発行できるようになっているのに対し、第 1 カードリーダライタ 508 は、これらカード貯留部 370 を省いた構成とされていて、ビジターカードの発行機能を有しないものとされている。

【 0089 】

また、振分け装置 5 の装置内部には、図 12 に示すように、振分け装置 5 に設けられた各部に接続されて、該振分け装置 5 が有する各種機能を実現するための制御を行なう制御部 510 が設けられており、該制御部 510 は、振分け装置 5 が有する各種機能を実現する50

ための制御内容が記述された制御プログラムを記憶する図示しないROMや、該制御プログラムを実行するマイクロコンピュータ(CPU)や、該マイクロコンピュータ(CPU)が処理に使用可能なRAM等を有している。

【0090】

また、制御部510は、前述したローカルエリアネットワーク(LAN)に通信部511を通じて接続されており、該ローカルエリアネットワーク(LAN)上の管理コンピュータ150等とのデータ通信が可能とされている。

【0091】

次に、本実施例のシステムコントローラ100について、図13に基づき説明する。まず、本実施例に用いたシステムコントローラ100は、図13に示すように、コンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス101に、該システムコントローラ100が実施する各種処理を行うCPU102、ワークメモリ等として使用されるRAM103、時刻情報やカレンダ情報を出力するRTC104、ハードディスク等からなる記憶装置105、キーボードやマウス等の入力装置106、各種の画面を表示出力する表示装置107、各種情報をプリント出力するプリンタ108、ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続されたカードユニット3(制御ユニット328)や振分け装置5やカード発行・入金機等の各装置とのデータ通信を行う通信部109、カード会社に設置された管理サーバ12とのデータ通信を行うデジタルサービスユニット(DSU)110が接続された通常のコンピュータである。

【0092】

記憶装置105には、システムコントローラ100において実施される各種処理を行うための処理内容が記述された処理プログラムに加えて、会員カードに残存するプリペイド残額を管理するための会員カードテーブル(図14(a)参照)と、ビジターカードに残存するプリペイド残額を管理するためのビジターカードテーブル(図14(b)参照)とが記憶されている。

【0093】

会員カードテーブルには、図14(a)に示すように、各会員カードを個々に識別可能な会員カードIDに対応付けて、当該会員カードの発行を受けた会員遊技者の会員IDと、プリペイド残額と、当該会員カードが使用不可であるか否かを示す使用不可フラグとが記憶されており、会員カードに記憶されている会員カードID若しくは会員IDから、プリペイド残額や当該会員カードの使用可否を特定できるようになっている。

【0094】

また、ビジターカードテーブルには、図14(b)に示すように、各ビジターカードを個々に識別可能なカードIDに対応付けて、当該ビジターカードの状況(利用中であるか保管中であるか)と、当該プリペイドカードが発行された最新の日時である最新発行日時と、プリペイド残額と、当該カードが使用不可であるか否かを示す使用不可フラグとが記憶されており、ビジターカードに記憶されているカードIDから、プリペイド残額や当該ビジターカードの使用可否、並びに最新発行日時を特定できるようになっている。

【0095】

本実施例のシステムコントローラ100(CPU102)は、カードユニット3における会員カードまたはビジターカードの受付けに応じて各カードユニット3から送信される、該カードユニット3の装置ID並びに該受付けた会員カードまたはビジターカードから読み出した(会員)カードID並びにプリペイド残額を含むカード受付け通知の受信に応じて、該会員カードまたはビジターカードの使用の可否を判定してカードユニット3に返信するカード受付け処理を実施する。

【0096】

また、本実施例のシステムコントローラ100(CPU102)は、カードユニット3における貸出処理の実施に伴い送信される後述の貸出完了通知の受信に応じて、該受信した貸出完了通知に含まれる(会員)カードIDに対応して会員カードテーブル若しくはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額から、該貸出完了通知に含まれる

10

20

30

40

50

税込使用額を減算更新する減算更新処理を行う。

【0097】

また、本実施例のシステムコントローラ100(CPU102)は、カードユニット3或いはカード発行・入金機における発行・入金処理の実施に伴い送信される後述のカード入金通知の受信に応じて、該受信したカード入金通知に含まれる(会員)カードIDに対応して会員カードテーブル若しくはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に、該カード入金通知に含まれる入金金額を加算更新する入金更新処理を行う。

【0098】

また、本実施例のシステムコントローラ100(CPU102)は、カードユニット3や振分け装置5におけるビジターカードの発行に伴って該カードユニット3や振分け装置5から送信される振分け発行通知の受信に応じて、該受信した振分け発行通知に含まれるカードIDに対応してビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「0」を記憶するとともに、状況と最新発行日時のデータを更新する更新処理を行う。10

【0099】

次に、本実施例の管理コンピュータ150について、図15に基づき説明する。まず、本実施例に用いた管理コンピュータ150は、図15に示すように、コンピュータ内部にてデータの送受を行なうデータバス151に、該管理コンピュータ150が実施する各種処理を行う中央演算処理装置(CPU)152、ワークメモリ等として使用されるRAM153、時刻情報やカレンダ情報を出力するリアルタイムクロック(RTC)154、ハードディスク等からなる記憶装置155、キーボードやマウス等の入力装置156、各種の画面を表示出力する表示装置157、各種情報をプリント出力するプリンタ158、ローカルエリアネットワーク(LAN)に接続されたカードユニット3や振分け装置5や景品交換用POS端末170とのデータ通信を行う通信部159が接続された通常のコンピュータである。20

【0100】

記憶装置155には、管理コンピュータ150において実施される各種処理を行うための処理内容が記述された処理プログラムに加えて、会員カードを所持する会員遊技者が所有する貯蓄玉数である営業当日において当該会員遊技者により獲得された持玉数並びに営業前日以前に当該会員遊技者により獲得された貯玉数を管理するための会員貯蓄管理テーブル(図16(a)参照)と、ビジターカードに記録されている該ビジターカードを所持する遊技者により営業当日において獲得された持玉数を管理するためのビジター貯蓄管理テーブル(図16(b)参照)と、遊技場内の各カードユニット3におけるその時点の計数済玉数と各カードユニット3に受付け中のカードとを管理するためのユニット管理テーブル(図17参照)と、遊技場内において振分けがなされた振分け履歴が格納されて管理される振分け履歴テーブル(図18参照)と、会員カードを所有する会員遊技者に関する会員情報が格納される会員情報テーブル(図14(a)参照)と、会員遊技者を特定可能な会員ID毎に、当該会員遊技者の遊技情報を含む遊技履歴が格納される会員別遊技履歴テーブル(図14(b)参照)とが記憶されている。30

【0101】

会員貯蓄管理テーブルには、図16(a)に示すように、各会員カードIDに対応付けて、当該会員カードの発行を受けた会員遊技者を個々に識別可能な会員識別情報である会員IDと、当該会員遊技者がその営業当日において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である持玉数と、当該会員遊技者がその営業前日以前において獲得した獲得玉数の合計であって遊技や景品交換に未使用の玉数である貯玉数とが記憶されており、会員カードに記憶されている会員カードID若しくは会員IDから、当該会員遊技者が所有する貯蓄玉数である持玉数や貯玉数を特定できるようになっている。40

【0102】

尚、会員貯蓄管理テーブルに管理されている持玉数は、その営業当日のみ持玉数として管理されており、営業終了後の締め処理において会員貯蓄管理テーブルに存在する持玉数は、貯玉数に加算更新された後、全てリセットされる。50

【 0 1 0 3 】

また、ビジター貯蓄管理テーブルには、図16(b)に示すように、各ビジターカードを個々に識別可能なカードIDに対応付けて、当該ビジターカードの最新発行日時と、該ビジターカードを所持する遊技者がその営業当日において獲得した獲得玉数の合計であつて遊技や景品交換に未使用の玉数である持玉数とが記憶されており、ビジターカードに記憶されているカードIDから、当該遊技者が所有する持玉数を特定できるようになっている。

【 0 1 0 4 】

尚、ビジター貯蓄管理テーブルに管理されている持玉数は、その営業当日のみ有効とされており、営業終了後の締め処理においてビジター貯蓄管理テーブルに存在する持玉数が全てリセットされることにより、無効化される。また、ビジターカードに前日以前の持玉数が記録されている場合には、該持玉数は無効として消去される。10

【 0 1 0 5 】

ユニット管理テーブルには、図17に示すように、遊技場内に設置された各カードユニット3に固有に付与された装置IDに対応付けて、カードユニット3のローカルIPアドレスが格納されるローカルIPと、当該カードユニット3が設置されている遊技島の島番号が格納される設置島と、当該カードユニット3がカードの受付中であるか待機中であるかが格納される状況と、当該カードユニット3が対応するパチンコ機2の台番号が格納される対応台番号と、受付け中の会員カードまたはビジターカードのカードIDが格納される受付IDと、その時点における各カードユニット3の計数済玉数とが記憶されており、これら計数済玉数のデータは、管理コンピュータ150からの送信要求の受信に応じて定期的に各カードユニット3から送信されるとともに、計数済玉数の変更後の所定時間後(例えば5秒後)に、各カードユニット3から送信されることで、最新の計数済玉数が管理されるようになっている。20

【 0 1 0 6 】

振分け履歴テーブルには、図18に示すように、振分けが実施された日付と、振分けが実施されたカードユニット3または振分け装置5の装置IDと、振分け元のカードのカードIDと、振分け先のカードのカードIDと、振分け先がビジターカードである場合に該ビジターカードが発行されたものであるかを示す発行と、振分けされた玉数である振分け玉数と、振分け先のカードが使用するためにカードユニット3に受付けられているか否かを示す利用受付けとから成る振分け履歴が格納されており、本実施例では、後述する振分け設定画面の集計対象期間として選択可能な最大期間である1ヶ月の振分け履歴が記憶されるようになっている。30

【 0 1 0 7 】

尚、「発行」に格納されるデータとしては、ビジターカードの発行があった場合において「1」が格納され、ビジターカードの発行がない場合には「0」が格納される。また、「利用受付け」に格納されるデータとしては、受付け済みである場合において「1」が格納され、受付け済みでない場合において「0」が格納される。

【 0 1 0 8 】

このように、本実施例では、これら振分け履歴テーブルにより、所定期間、例えば一日において該遊技場において振分けされたパチンコ玉の総数を、当日の日付が格納されている全ての履歴の振分け数を合計することで特定できるとともに、同様に、振分け元カードに同一のカードIDが記憶され、当日の日付が記憶されている全ての履歴の振分け数を合計することで、該振分け元カードからその当日において振分けされたパチンコ玉の総数を特定でき、更には、振分け先カードに同一のカードIDが記憶され、当日の日付が記憶されている全ての履歴の振分け数を合計することで、該振分け先カードに対してその当日において振分けされたパチンコ玉の総数も特定できるようになっている。40

【 0 1 0 9 】

会員情報テーブルには、図19(a)に示すように、会員カードを所持する会員遊技者の会員IDに対応付けて、本人確認のための暗証番号と、会員カードの受付けに応じて一50

日に1回所定の来店ポイントが加算更新される来店ポイントと、来店状況等に基づくランクと、会員の氏名（名字並びに名前）、性別、年齢、誕生日、職業、住所、電子メールアドレスからなる会員属性情報（個人情報）とが登録されている。

【0110】

また、会員別遊技履歴テーブルには、図19（b）に示すように、会員ID毎に、当該会員遊技者の遊技履歴、具体的には、来店日、遊技を行ったパチンコ機2の台番号、機種名、遊技開始時間（時刻）、遊技終了時間（時刻）、遊技開始から終了までの間の遊技時間、始動回数、大当回数、確率変動回数（確変回数）、獲得玉数、支出金額、再プレイ玉数、使用持玉数からなる遊技履歴が格納されている。会員別遊技履歴テーブルの来店日には、RTC154から出力されるカレンダ情報に基づく当該遊技履歴の記憶時点の年月日が格納されるとともに、遊技開始時間、遊技終了時間、遊技時間、始動回数、大当回数、確変回数、獲得玉数、支出金額の遊技履歴は、計数・払出ユニット4を介して会員カードの返却時にカードユニット3から送信される会員遊技履歴データに基づいて記憶される。10

【0111】

ここで、本実施例の管理コンピュータ150にて実施可能な振分け設定について、図20に基づいて説明すると、本実施例の管理コンピュータ150では、遊技場内のカードユニット3や振分け装置5にて実施される振分けについての制限に関する各種の設定が、図20に示す振分け設定画面において可能とされている。

【0112】

これら制限の内容としては、具体的には、図20に示すように、遊技場全体における振分け総数の制限や、1のビジターカードまたは会員カードから振分けされる総数の制限や、1のビジターカードまたは会員カードに振分けされる総数の制限や、1の振分け後において該カードがカードユニット3に受付けされる以前における再度の振分けの制限とがあり、これら各制限の内容を、遊技場の所望する内容に設定できるようになっている。20

【0113】

本実施例の振分け設定画面には、図20に示すように、画面の上部位置に、「集計対象期間」の設定項目が設けられており、該振分け設定画面において制限する内容と比較するデータを集計する期間を指定できるようになっている。

【0114】

例えば、振分けの総数等の制限を、時間帯、例えば営業開始から15時までにおいて実施したい場合であれば、「始業から15時」までの内容を選択すれば良く、一日単位にて制限したい場合には、該「集計対象期間」の設定項目において「一日」を選択すれば良く、また、一週間単位にて制限したい場合でれば、「集計対象期間」の設定項目において「一週間」を選択すれば良い。30

【0115】

尚、本実施例では、これら集計期間を制限する各項目において全て共通としているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの集計期間を、振分け総数、振分け元上限制限、振分け先上限制限のそれぞれについて、個別に設定できるようにしても良い。

【0116】

振分け総数制限の項目には、図20に示すように、該振分け総数制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が設けられており、該振分け総数制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。40

【0117】

また、振分け元上限制限の項目には、図20に示すように、該振分け元上限制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が、会員カードとビジターカードのそれぞれに設けられており、該振分け元上限制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、各カードに対応する入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれ50

ば良い。

【 0 1 1 8 】

また、振分け先上限制限の項目にも、図20に示すように、該振分け先上限制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられているとともに、制限する総数を入力する入力部が、会員カードとビジターカードのそれぞれに設けられており、該振分け先上限制限を実施する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックするとともに、各カードに対応する入力部に制限したい総数の値（上限値）を入力すれば良い。

【 0 1 1 9 】

また、連続振分け制限の項目には、該連続振分け制限の実施／非実施を選択するためのチェックボックスが設けられており、1回の振分けを実施した際の、該振分け先のカードをカードユニット3に挿入して受付けを実施する前に、他の振分けの実施を制限する場合、つまり、カードユニット3に挿入して受付けを実施する前の複数の振分けを制限する場合には、「する」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良く、カードユニット3に挿入して受付けを実施する前の複数の振分けを許容する場合には、「しない」に対応するチェックボックスを選択してチェックすれば良い。

10

【 0 1 2 0 】

このように、連続振分け制限を実施した場合には、振分けの都度毎に、振分け先のカードをカードユニットに挿入して受付けを実施しないと、再度の振分けが実施できないことで、振分けの頻度を実質的に低下させることができるようになる一方、連続振分け制限を実施しない場合、つまり、連続振分けを許容する場合には、振分け先の遊技者は、複数の振分け元の遊技者から連続して振分けを受けることができるようになり、遊技者の利便性を向上できるようになる。

20

【 0 1 2 1 】

以上のように、各設定項目において所望する設定内容を指定・入力した後に、該振分け設定画面の下方に設けられている「設定」の選択入力部を選択入力することで、該振分け設定画面の設定内容が更新記憶される。尚、該振分け設定画面の下方に設けられている「リセット」の選択入力部を選択入力した場合には、画面の各項目の内容が所定のデフォルト状態に初期化される。

【 0 1 2 2 】

30

また、本実施例の管理コンピュータ150は、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け処理がなされたカードユニット3の装置IDを含む振分け履歴や、会員情報テーブルに記憶されている来店ポイント等の会員情報等をシステムコントローラ100やホールコンピュータ140に送信する情報提供機能を有しており、遊技場の係員等が、遊技場内のパチンコ機2の遊技情報の確認や監視カメラの映像の確認において利用するホールコンピュータ140において、これら振分け履歴の情報や会員情報を確認できるようになっている。

【 0 1 2 3 】

これら情報提供機能について、図27に基づいて、振分け履歴の情報が提供される場合を例に、説明すると、まず、ホールコンピュータ140において振分け履歴を表示させるための所定の操作を実施すると、該ホールコンピュータ140は、既に、管理コンピュータ150から取得して記憶している振分け履歴のうち、最新の振分け履歴の日時情報を特定し、該特定した最新の振分け履歴の日時情報を含む振分け履歴要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

40

【 0 1 2 4 】

この振分け履歴要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、受信した振分け履歴要求に含まれる日時情報以降の日時情報を含む振分け履歴を未送信履歴として特定し、該特定した未送信履歴を全て振分け履歴テーブルから読み出して、振分け履歴情報としてホールコンピュータ140に返信する。

【 0 1 2 5 】

50

該振分け履歴情報を受信に応じてホールコンピュータ140は、受信した振分け履歴を、既に記憶している振分け履歴に追加登録するとともに、該追加登録した振分け履歴を含む振分け履歴の一覧であって、各振分け履歴に含まれる当該振分け処理がなされた装置IDの表示を含む一覧を表示する。

【0126】

このようにすることで、パチンコ機2の遊技情報の確認或いは監視カメラの映像の確認において異常の疑いのあるデータや画像を発見した場合等において、これらが異常であるか否かの判断をするために、振分け処理がなされた装置IDの表示を含む振分け履歴の情報をホールコンピュータ140において迅速に閲覧できることで、これらの判断を、振分け処理がなされたカードユニット3を特定しながら、迅速かつ正確に実施することができるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分け履歴の提供機能を管理コンピュータ150が有しないものであっても良い。10

【0127】

以下、本実施例のカードユニット3の動作について、図21～図28に基づいて説明する。

【0128】

まず、カードユニット3の制御ユニット328は、カードユニット3への電源投入により起動されることで、Sb1の起動処理を実施して、各種テーブルの初期化並びに各部の接続状況の確認や、システムコントローラ100やホールコンピュータ140、管理コンピュータ150への接続確認要求の送信、並びに該接続確認要求の送信に応じてシステムコントローラ100、ホールコンピュータ140、管理コンピュータ150から返信される設定情報に基づく各設定データに初期値等の設定等を実施する。20

【0129】

そして、該起動処理の完了後においてSb2～Sb10の処理を巡回実施することで、カード挿入口309への会員カード或いはビジターカードの挿入であるカード受付け、遊技者（会員またはビジター）による貸出ボタンの操作、紙幣挿入口302からの紙幣の投入による現金受付け、遊技者による返却ボタンの操作、再プレイボタン319の操作（表示制御基板329からの再プレイ操作情報の受信）、払出ボタン311の操作、係員が所持するリモコンにおける離席操作（表示制御基板329からの離席操作情報の受信）、遊技者による振分けメニューの選択操作（表示制御基板329からの振分け操作情報の受信）、メニューボタン316の操作（表示制御基板329からのメインメニュー表示操作情報の受信）、を検知する待機状態となる。30

【0130】

尚、制御ユニット328は、Sb1の起動処理の後、これら図21に示す通常処理と平行して、計数払出ユニット348から出力される計数センサ信号の入力を監視する図22に示す計数センサ信号処理や、リモコンから送信される加算留保要求の受信を監視する処理や、対応するパチンコ機2やアウト玉計数器16から出力される、大当たり中信号、確変中信号、時短中信号、始動信号、賞球信号、アウト玉計数信号の入力や変化を監視する図示しない割込監視処理を、これら通常処理を実施する処理タスクとは個別の処理タスクに基づいて実施することで、各対象状態の発生を監視し、計数済玉数への加算更新や、加算留保設定やその解除、遊技情報の更新処理を、逐次実施できるようになっている。40

【0131】

ここで、カードユニット3においてパチンコ玉が計数される流れについて説明すると、パチンコ玉の計数を実施する場合には、まず、遊技者は、パチンコ機2から払出されて下皿24に貯留されているパチンコ玉を、該下皿24に設けられているレバーを操作して投入部345に投入する。

【0132】

そして、計数したい量のパチンコ玉を投入部345に投入した後に、計数レバー341を操作して計数通路343への侵入口に設けられている開閉シャッタ346を開放させる。これにより、投入部345に一時貯留されているパチンコ玉が、侵入口から計数通路350

43へ流入し、該計数通路343を通じて計数払出ユニット348内の計数センサ354により検出され、1球のパチンコ玉が検出される毎に、所定パルスの計数センサ信号が制御ユニット328に対して出力される。

【0133】

これら計数センサ信号の入力は、制御ユニット328が実施する図22に示す計数センサ信号処理におけるSS1のステップにて計数センサ信号の入力ありと判定されてSS2のステップに進み、計数払出ユニット348に対して計数禁止指示を出力している計数禁止状態であるか否かを判定する。

【0134】

計数禁止中である場合には、SS5のステップに進んで、計数エラーが発生したこと 10 を表示部312に表示するとともに、多機能ランプ301の点灯状態にて報知するエラー報知処理に移行する一方、計数禁止中でない場合には、SS3のステップに進んで、係員が所持するリモコンによる加算留保設定が有るか否かを判定する。

【0135】

加算留保設定がない場合には、SS4のステップに進んでカードテーブルの持玉数と表示部312の計数済玉数に1を加算更新してSS1のステップに戻る一方、加算留保設定がある場合には、SS4のステップを実施することなくSS1のステップに戻る。

【0136】

つまり、投入部345から計数通路343を通じて計数払出ユニット348内に流入したパチンコ玉は、1個づつ計数センサ354により検出されて持玉数と計数済玉数に加算される。 20

【0137】

尚、これら加算においては、加算終了を検知するための加算終了検知タイマ（本実施例では5秒が設定されている）が、加算の都度毎にリセットされ、該加算終了検知タイマがタイマアップした時点、つまり、最後の加算が実施されてから加算終了検知タイマに設定されている所定時間が経過した時点において、該カードユニット3の装置IDと、受付け中のカードのカードIDと該加算後の計数済玉数とを含む持玉数更新要求が管理コンピュータ150に送信されることで、これら加算後の持玉数が管理コンピュータ150の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルの持玉数と、ユニット管理テーブルの計数済玉数とが、該持玉数更新要求に含まれる計数済玉数に遅滞なく更新される。 30

【0138】

また、前述した計数払出ユニット348内の玉貯留部355に貯留されている玉数が少なく、玉貯留部355にパチンコ玉を補充する必要が有る場合には、係員が携行している図示しないリモコンを操作して加算留保設定を実施した後、補充するパチンコ球を侵入口から投入することで、該投入したパチンコ球が持玉数と計数済玉数に加算されることなく、玉貯留部355に貯留されるようになる。

【0139】

次に、上記したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が、ビジターカードまたは会員カードをカード挿入口309に挿入した場合には、該ビジターカード或いは会員カードの挿入に伴う挿入検知情報がカードリーダライタ327から制御ユニット328に出力されることで、制御ユニット328は、Sb2においてカード受付け有りと判断してSb20のステップに進み、カード受付け処理を実施する。 40

【0140】

このSb20における本実施例のカード受付け処理においては、カード挿入口309に挿入された会員カードまたはビジターカードの取り込み指示をカードリーダライタ327に出力して、挿入された会員カード或いはビジターカードをカードリーダライタ327のカードスロット392内に取り込んで、該会員カード或いはビジターカードに記憶されている記憶データ、具体的には、当該会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと会員ID（会員カードのみ）とプリペイド残額データ、持玉数データ（ビジターカードのみ）、振分けフラグ等を読み出す。 50

【0141】

そして制御ユニット328は、受付けた会員カード又はビジターカードから読み出した(会員)カードIDとプリペイド残額データと装置IDとを含む認証要求をシステムコントローラ100に送信し、システムコントローラ100からの認証結果を受信するカード認証処理を実施する。

【0142】

この認証要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、受信した認証要求に含まれる(会員)カードIDが、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに存在するか否かとともに、利用不可フラグに利用不可「1」が記憶されているか否かを判定し、存在するとともに利用不可「1」が記憶されていない、つまり利用不可フラグに「0」が記憶されている場合には、該(会員)カードIDに対応付けて会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに記憶、管理されているプリペイド残額が、該受信した認証要求に含まれるプリペイド残額データ、すなわち、受付けた会員カード或いはビジターカードから読み出したプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額に一致するか否かを判定し、一致することを条件に、認証結果として「認証OK」を返信する一方、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルに当該(会員)カードIDが存在しない場合や、利用不可フラグに利用不可「1」が記憶されている場合並びにプリペイド残額が一致しない場合には「認証NG」を返信する。但し、プリペイド残額が一致しない場合であって、認証要求に含まれるプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額の方が少額の場合には、会員カードテーブル又はビジターカードテーブルにおけるプリペイド残額を、該少額の金額に更新するとともに、「認証OK」を返信して、当該会員カード又はビジターカードの利用を許諾する。

10

20

【0143】

システムコントローラ100から返信された認証結果が「認証NG」である場合にカードユニット3は、受付けた会員カード或いはビジターカードの排出指示をカードリーダライタ327に出力して、挿入された会員カード或いはビジターカードを返却させてカード受付け処理を終了する一方、返信された認証結果が「認証OK」である場合には、受付けたカードから読み出した(会員)カードIDと会員ID(会員のみ)とプリペイド残額とをカードテーブルに格納するとともに、図26に示すように、管理コンピュータ150に対して、受付けた会員カード或いはビジターカードから読み出した(会員)カードIDと装置IDと持玉数(ビジターカードのみ)と振分けフラグデータを含むカード受付け通知を送信する。

30

【0144】

このカード受付け通知の受信に応じて管理コンピュータ150は、まず、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数が存在するか否かを判定し、存在する場合には、該持玉数を照合する照合処理を行う。

【0145】

具体的には、受信したカード受付け通知に含まれるカードIDに対応してビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数とが一致するか否かを判定する。

40

【0146】

該照合判定において一致しない場合には、受信したカード受付け通知の送信元のカードユニット3に対し、持玉数の照合がNGである旨の照合エラー情報を返信することで、カードユニット3において該ビジターカードが返却される。

【0147】

一方、該照合判定において一致する場合、或いは、受信したカード受付け通知に持玉数が含まれていない場合(会員カードの場合)には、受信したカード受付け通知に含まれる振分けフラグデータが、振分けの有りを示す「1」であるか否かを判定する。

【0148】

該判定において振分けフラグデータが「0」である場合、つまり振分けが無い場合には

50

、通常受付け処理に進む一方、該判定において振分けフラグデータが「1」である場合、つまり振分けが有る場合には、振分け履歴テーブルに受信したカード受付け通知に含まれるカードIDを含む振分け履歴であって、利用受付けに「0」が登録されている履歴が存在するか否か、つまり、受信したカード受付け通知に含まれるカードIDと、利用受付けに「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカードIDとが一致するか否かを判定する。

【0149】

振分け履歴が存在する、つまり、受信したカード受付け通知に含まれるカードIDが、利用受付けに「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカードIDと一致する場合には、該一致した振分け履歴の振分け数を、該カード受付け通知に含まれるカードIDに対応する持玉数、つまり、カードIDが会員カードIDであれば、会員貯蓄管理テーブルにおいて該会員カードIDに対応して記憶されている持玉数に該振分け数を加算更新し、カードIDがビジターカードのカードIDであれば、ビジター貯蓄管理テーブルにおいて該カードIDに対応して記憶されている持玉数に該振分け数を加算更新し、該持玉数の利用を可能化するとともに、該特定した振分け履歴の利用受付けのデータを、利用受付け済みを示す「1」に更新した後、通常受付け処理に進む。10

【0150】

尚、連続振分けが制限されていない場合であって、特定した振分け履歴が複数存在する場合には、特定した各振分け履歴の振分け数が全て加算更新される。

【0151】

また、振分け履歴の特定に際し、振分け履歴が存在しない場合には、すなわち、振分けフラグデータが「1」であるカード受付け通知に含まれるカードIDが、利用受付けに「0」が登録されている振分け履歴に含まれるカードIDと一致しない場合には、エラー情報を返信することで、カードユニット3において受けたカードが排出されて返却され、利用が不可とされるとともに、受信したカード受付け通知に含まれる装置IDのカードユニット3が対応するパチンコ機2の台番号を含むエラー情報が、管理コンピュータ150の表示装置157に表示されて報知される。20

【0152】

通常受付け処理において管理コンピュータ150は、まず、受信したカード受付け通知に含まれる装置IDに対応するユニット管理テーブルの「状況」のデータを「受付中」に更新するとともに、受信したカード受付け通知に含まれる(会員)カードIDをユニット管理テーブルの「受付ID」の項目に格納する。30

【0153】

次いで、受信したカード受付け通知に含まれる(会員)カードIDに対応する持玉数、貯玉数(会員のみ)を、会員貯蓄管理テーブルまたはビジター貯蓄管理テーブルにおいて該(会員)カードIDに対応して記憶されている各データから特定するとともに、該カードIDが会員カードIDである場合には、該会員カードIDに対応して会員情報テーブルに記憶されている暗証番号と来店ポイントを更に特定し、これら特定した持玉数、貯玉数(会員のみ)、来店ポイント(会員のみ)、暗証番号(会員のみ)と、(会員)カードIDとを含む受付け処理完了通知を、受信したカード受付け通知の送信元のカードユニット3に対して返信する。40

【0154】

この受付け処理完了通知の受信に応じてカードユニット3(制御ユニット328)は、受信した受付け処理完了通知に含まれる持玉数、貯玉数(会員のみ)、来店ポイント(会員のみ)、暗証番号(会員のみ)を、カードテーブルに格納するとともに、受付け中のカードの振分けフラグを「0」に更新した後、カードテーブルに記憶されているプリペイド残額を対応するパチンコ機2の残額表示器に表示するとともに、カードテーブルに記憶されている持玉数を計数済玉数として表示部312に表示してSb2～Sb10の待機状態に戻る。

【0155】

50

これら残額表示器にプリペイド残額が表示された後、遊技者が貸出ボタンの操作を実施した場合には、該遊技者による貸出ボタンの操作を検知するための貸出ボタンスイッチからの信号が制御ユニット328に出力されることで、制御ユニット328は、Sb2～Sb10の待機状態におけるSb3のステップにおいて貸出ボタンの操作有りと判断してSb21のステップに進み、貸出処理を実施する。

【0156】

この貸出処理においては、まず、挿入された会員カード或いはビジターカード（紙幣挿入により発行されたビジターカードを含む）から読み出してRAM328b（カードテーブル）に記憶しているプリペイド残額が、対応するパチンコ機2における貸出単位である25球に相当する1度数=100円未満であるか否かを判定し、プリペイド残額が1度数=100円未満である場合には該判定において「Yes」と判定されて、該貸出処理を終了してSb2～Sb10の待機状態に戻る一方、プリペイド残額が1度数=100円以上である場合には、次のステップに進み、プリペイド残額が本実施例において貸出処理の使用度数として設定されている5度数=500円以上であるか否かを判定する。10

【0157】

プリペイド残額が使用度数である5度数=500円以上である場合には、使用金額玉貸処理を実施する一方、使用度数である5度数=500円未満である場合には、表示金額玉貸処理を実施する。

【0158】

この使用金額玉貸処理においては、使用度数となる5度数=500円に相当するパチンコ玉数の払出指示、具体的には、1度数である25玉の払出を指示する信号を5回出力して、5度数=500円分に相当する125玉の払出を、対応するパチンコ機2に実施させる。20

【0159】

具体的には、パチンコ機2より出力されるPRDYのHIGH/LOWを判定し、PRDYがHIGHである場合には、所定のエラー処理を実施し、貸与処理を終了する。

【0160】

また、前記PRDYがLOWである場合には、BRDYをLOWに切替えた後、BRQをLOWとして、パチンコ機2からのEXSのHIGHの検出待ちの状態となり、該EXSのLOWの検出に基づきBRQをHIGHに切替え、EXSのHIGHの検出待ちの状態となる。30

【0161】

次いで、パチンコ機2における1度分の払出が完了され、EXSのHIGHを検出すると、制御ユニット328は、残額表示器に表示されているプリペイド残額と、カードテーブルのプリペイド残額データ並びに受付け中の会員カード或いはビジターカードに記憶されているプリペイド残額データから該1度分に相当する100円を減算更新し、BRQの回数をカウントし、該カウントしたBRQの回数を使用度数である5度数に相当する5回と比較する。

【0162】

この比較において前記カウントしたBRQの回数が5度数に一致しない場合には、再び前述の1度分の払出処理を実施するようになっており、前記した使用度数との比較においてカウントしたBRQの回数が5度数に一致した場合には、BRDYをHIGHとする。40

【0163】

そして、システムコントローラ100に対して、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと、使用度数に相当する使用額（500円）とを含む貸出完了通知を送信して、システムコントローラ100の会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルにて該（会員）カードIDに対応付けて記憶されているプリペイド残額から該使用額を減算更新させる。

【0164】

そして、受付け中のカードがビジターカードであるか否かを判定し、ビジターカードで50

ない場合には該貸出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る一方、ビジターカードを受け付け中である場合には、残額表示器に表示されているプリペイド残額（RAM328bのカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に同一）が 0 であるか否かを判定する。

【0165】

そして、該判定においてプリペイド残額が 0 でない場合には、該貸出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る一方、プリペイド残額が 0 である場合には、更に、カードテーブルの持玉数が存在するか否かを判定する。

【0166】

持玉数が存在する場合には、S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る一方、持玉数が存在しない場合には、該プリペイド残額が 0 となつたビジターカードの回収指示をカードリーダライタ327に出力して、カードリーダライタ327の内方側のカード貯留部370に回収するとともに、システムコントローラ100と管理コンピュータ150に対し、該回収したビジターカードのカードIDを含む回収通知を送信することで、システムコントローラ100のビジターカードテーブルの「状況」を「保管中」に更新させるとともに、管理コンピュータ150のユニット管理テーブルの当該カードユニット3のデータを更新させた後、カードテーブルをリセットして、S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。10

【0167】

一方、表示金額玉貸処理においては、残額表示器に表示されているプリペイド残額（RAM328bのカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に同一）を 1 度数に相当する 100 円で除した度数分の払出指示、例えば、プリペイド残額が 400 円であれば、1 度数である 25 玉の払出を指示する信号を 4 回出力して、400 円分に相当する 4 度数 = 100 玉の払出を、上述した使用度数の払出の場合と同様にして対応するパチンコ機 2 に実施させるとともに、残額表示器に表示されているプリペイド残額と、カードテーブルのプリペイド残額データ並びに受け付け中の会員カード或いはビジターカードに記憶されているプリペイド残額データをパチンコ玉の玉貸に使用した 4 度数分に相当する 400 円が減算更新された金額、つまり「0」に更新する。20

【0168】

そして、システムコントローラ100に対して、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受け付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと、使用金額である400円とを含む貸出完了通知を送信して、システムコントローラ100にて（会員）カードIDに対応付けて会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額から使用額である400円を減算更新させる。30

【0169】

そして、前述した使用度数の場合と同様に、受け付け中のカードがビジターカードであつてプリペイド残額が 0 であるか否かを判定し（この場合においては、必ず 0 であると判定される）、ビジターカードであつてプリペイド残額が 0 である場合には、更に、持玉数が存在しないことを条件にビジターカードを回収した後、該貸出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

【0170】

また、前述した S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態において、遊技者が紙幣挿入口302から現金（紙幣）を投入した場合には、該現金（紙幣）の投入に伴う貨幣識別情報が紙幣識別ユニット321から制御ユニット328に出力されることで、制御ユニット328は、S b 4 のステップにおいて現金の受け付け有りと判断して S b 2 2 のステップに進み、発行・入金処理を実施する。40

【0171】

この発行・入金処理においては、まず、入力された貨幣識別情報から投入された貨幣の投入金額を特定するとともに、カードリーダライタ327に受け付け中の会員カード或いはビジターカードが存在するか否かを判定する。

【0172】

50

そして、受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在しないとの判定の場合に制御ユニット328は、カード貯留部370に収納されているビジターカードをカードスロット392上の所定の読み取り位置に移動させて、当該ビジターカードのカードIDを読み出し、該読み出したカードIDと、投入金額と、当該カードユニット3の装置IDとを含む発行要求をシステムコントローラ100に送信する。

【0173】

この発行要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、受信した発行要求に含まれるカードIDが、ビジターカードテーブルに存在するか否かを判定し、存在する場合には、該カードIDに対応するビジターカードテーブルの「状況」を「利用中」に更新し、RTC104から出力されるその時点の日時を最新発行日時に格納するとともに、受信した投入金額を「残存金額」にプリペイド残額として格納して、「発行許諾」を該発行要求の送信元のカードユニット3に対して返信する。尚、受信したカードIDが、ビジターカードテーブルに存在しない場合には、「発行不可」が返信される。10

【0174】

また、「発行許諾」の送信に伴いシステムコントローラ100は、管理コンピュータ150に対して、格納した最新発行日時と受信した発行要求に含まれるカードIDと装置IDとを含む発行通知を管理コンピュータ150に通知することで、管理コンピュータ150は、受信した発行通知に含まれるカードIDに対応するビジターオブ蓄管理テーブルの最新発行日時に、該受信した発行通知に含まれる最新発行日時を格納するとともに、受信した発行通知に含まれる装置IDに対応するユニット管理テーブルの「状況」を「受付け中」に更新するとともに、「受付ID」に当該受信したカードIDを格納してユニット管理テーブルを更新する。20

【0175】

上記した「発行許諾」の受信に応じてカードユニット3(制御ユニット328)は、カードスロット392に移動させたビジターカードに、投入金額に相当するプリペイド残額を書き込み記憶するとともに、カードテーブルに、該ビジターカードのカードIDと投入金額に相当するプリペイド残額とを記憶、並びに残額表示器に該プリペイド残額を表示した後、該発行・入金処理を終了してSb2～Sb10の待機状態に戻る。

【0176】

尚、システムコントローラ100から「発行不可」を受信した場合、並びに、カード貯留部370にビジターカードが収納されていない場合には、紙幣挿入口302から投入された現金(紙幣)を返却するとともに、多機能ランプ301を所定のエラー報知態様にて点灯させるエラー報知処理を、該エラー状態が解消されるまで実施することで、エラーの発生を報知する。30

【0177】

一方、現金(紙幣)の投入時においてカードスロット392に受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在する場合には、上記にて特定した投入金額を、受付け中の会員カード或いはビジターカード並びにカードテーブルに記憶されているプリペイド残額データから特定されるプリペイド残額に加算して、これら各プリペイド残額データを加算後の新たなプリペイド残額を特定可能なプリペイド残額データに更新した後、該入金金額(投入金額に同じ)と当該カードユニット3の装置IDと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの(会員)カードIDとを含むカード入金通知をシステムコントローラ100に送信して、該システムコントローラ100の会員カードテーブル或いはビジターカードテーブルにおいて該(会員)カードIDに対応して記憶されているプリペイド残額に該入金金額を加算更新させる。40

【0178】

そして、残額表示器に表示されているプリペイド残額を、加算更新後の新たな金額に更新表示して、該入金処理を終了してSb2～Sb10の待機状態に戻る。

【0179】

また、前述したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が返却ボタンの操作を実50

施した場合には、遊技者による返却ボタンの操作を検知するための返却ボタンスイッチからの信号が制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb5において返却ボタンの操作有りと判断してSb23に進み、返却処理を実施する。

【0180】

この返却処理においては、まず、カードリーダライタ327に受付け中の会員カード或いはビジターカードが存在するか否かを判定し、存在しない場合には当該操作を無効とする一方、存在する場合には、払出ボタン311の操作を無効とともに、計数払出ユニット348に対して計数禁止指示を出力して、新たな計数を禁止する。

【0181】

この計数禁止指示の出力によって計数払出ユニット348においては、流入路350が流路切替え板353'によって塞がれることにより、新たなパチンコ玉の計数が禁止されるとともに、該禁止中に流入してきたパチンコ玉は、環流路351と流出路352並びに返却通路344を介して返却口342に返却されるようになる。10

【0182】

そして制御ユニット328は、管理コンピュータ150に対して当該カードユニット3の装置IDと返却したカードのカードIDとカードテーブルに記憶されている持玉数と貯玉数（会員のみ）を含む返却通知を送信する。

【0183】

この返却通知の受信に応じて管理コンピュータ150は、会員貯蓄管理テーブルまたはビジターセンターテーブルにおいて、受信した返却通知に含まれる（会員）カードIDに対応して記憶されている持玉数並びに貯玉数（会員のみ）を、受信した返却通知に含まれる持玉数並びに貯玉数に更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した装置IDに対応する「状況」を「待機中」に変更し、「受付けID」に格納されているカードIDを削除して、該返却通知の送信元のカードユニット3に対して更新完了通知を送信する。20

【0184】

この更新完了通知の受信に応じてカードユニット3（制御ユニット328）は、受付け中のカードがビジターカードであるか否かを判定し、ビジターカードである場合には、該ビジターカードに、カードテーブルの持玉数を記録した後、排出指示をカードリーダライタ327に出力して受付け中のビジターカードまたは会員カードをカード挿入口309から排出させるとともに、カードテーブルをリセットし、払出ボタン311の操作無効と計数禁止とを解除してSb2～Sb10の待機状態に戻る。30

【0185】

尚、返却するカードが会員カードである場合に制御ユニット328は、会員遊技情報テーブルに記憶されている会員遊技情報データを含む返却通知を送信して該会員遊技情報テーブルをリセットすることで、該会員遊技情報データが会員別遊技履歴テーブルに登録される。

【0186】

また、前述したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が再プレイボタン319の操作を実施した場合には、該再プレイボタン319の操作を検知した表示制御基板329から再プレイ操作情報を制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb6において再プレイボタン319の操作有りと判断してSb24に進み、再プレイ処理を実施する。40

【0187】

この再プレイ処理においては、まず、持玉数が「0」であるか否かを判定し、持玉数が「0」でない場合には、該操作を無効とともに、「持玉数が有りますので、払出ボタンを操作して下さい。」のメッセージを表示部312に表示した後、b2～Sb10の待機状態に戻る一方、持玉数が「0」である場合には、更に、RAM328b内に記憶されている暗証番号の照合済みの有無を示す照合済みフラグが、照合済みを示す「1」であるか否かを判定し、「1」でない場合（照合済みでない場合）には、暗証番号の受付け処理を実施する。50

理を実施する。

【 0 1 8 8 】

このように、本実施例では、当日において会員遊技者が獲得した持玉数は、貯玉数と異なり、手数料を必要とせずに払出しが実施されることから、これら手数料がかからない持玉数が存在する場合において再プレイ操作を無効とすることで、手数料がかからない持玉数が存在するにもかかわらず、手数料のかかる貯玉数が使用されてしまうことによる会員遊技者の不利益の発生を解消することができるようになっている。

【 0 1 8 9 】

本実施例の暗証番号の受付け処理においては、まず、テンキーを含む暗証番号の受付け画面並びに暗証番号の入力を促すアナウンス表示を表示部 312 に表示して、暗証番号の受付けを行う。 10

【 0 1 9 0 】

そして、受付けた暗証番号とカードテーブルに格納している暗証番号とを比較し、双方が一致した場合において、RAM328b内の所定領域の照合済みフラグを、照合済みを示す「1」に更新するとともに、カードテーブルに格納している貯玉数が所定の再プレイ単位玉数(135玉)以上であることを条件に、再プレイ玉貸処理を実施する。

【 0 1 9 1 】

一方、照合済みを示す「1」である場合には、さらに、LED320aが点灯状態であるか否か、つまり、貯玉数が所定の再プレイ単位玉数以上であるか否かを判定し、LED320aが点灯状態である場合には、カードテーブルに記憶されている貯玉数から、再プレイ単位数である135玉を減算更新し、再プレイ表示部320(LED320a)を消灯した後、再プレイ玉貸処理を実施する。この本実施例の再プレイ玉貸処理においては、再プレイ単位数(135玉)に対応するパチンコ玉数、具体的には、再プレイ単位数(135玉)から手数料10玉を除いた125玉のパチンコ玉の払出しを、上述した貸出処理の場合と同様に、対応するパチンコ機2における払出単位である25玉の払出を指示する信号を5回出力することでパチンコ機2に実施させる。 20

【 0 1 9 2 】

尚、再プレイ単位玉数の減算更新後の貯玉数が、再プレイ単位玉数以上である場合には、再プレイ玉貸処理の終了後において、再度、再プレイ表示部320(LED320a)が点灯状態とされる。 30

【 0 1 9 3 】

そして、管理コンピュータ150に対して、カードテーブルに記憶されている会員カードID並びに会員IDと、貯玉数から減算した再プレイ単位数(135玉)とを含む再プレイ完了通知を送信した後、該再プレイ処理を終了してSb2～Sb10の待機状態に戻る。

【 0 1 9 4 】

尚、再プレイ完了通知を受信した管理コンピュータ150は、会員貯蓄管理テーブルにおいて、該再プレイ完了通知に含まれる会員カードID並びに会員IDに対応付けて記憶されている貯玉数から再プレイ単位数(135玉)を減算更新する。 40

【 0 1 9 5 】

また、前述したSb2～Sb10の待機状態において、払出ボタン311を操作した場合には、払出ボタンスイッチ311'からの操作信号が制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb7において払出ボタン311の操作有りと判断してSb25に進み、図23に示す払出処理を実施する。尚、払出操作が無効とされている場合には、Sb25に進むことなく、Sb2～Sb10の待機状態を継続する。

【 0 1 9 6 】

本実施例の払出処理においては、まず、図23に示すように、計数済玉数、つまり、カードテーブルの持玉数が存在するか否かを判定する(Sh1)。

【 0 1 9 7 】

このSh1のステップにおける判定において、計数済玉数(持玉数)が存在しない場合 50

には、S h 6 のステップに進んで、表示部 3 1 2 に、例えば、「計数済玉数がありません。」のエラーメッセージを表示して、計数済玉数（持玉数）が存在しないことを遊技者に報知した後、該払出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

【 0 1 9 8 】

一方、計数済玉数（持玉数）が存在する場合には S h 2 のステップに進み、計数済玉数が予め設定されている所定の払出設定数である 5 度数に相当する 1 2 5 玉以上であるか否かを判定する。

【 0 1 9 9 】

該判定において 1 2 5 玉以上である場合には、S h 8 に進み、払出設定数払出処理を実施する。

10

【 0 2 0 0 】

具体的に、該払出設定数払出処理においては、前述した使用度数貸出処理の場合と同じく、パチンコ機 2 より出力される P R D Y の H I G H / L O W を判定し、P R D Y が L O W であることを条件に、B R D Y を L O W に切替えた後、B R Q を L O W として、パチンコ機 2 からの E X S の H I G H の検出待ちの状態となり、該 E X S の L O W の検出に基づき B R Q を H I G H に切替えることにより、1 払出単位である 1 度数に相当する 2 5 玉のパチンコ玉の払い出しを実施させ、E X S の H I G H の検出待ちの状態となる。

【 0 2 0 1 】

次いで、パチンコ機 2 における 1 払出単位の払い出しが完了され、E X S の H I G H を検出すると、制御ユニット 3 2 8 は、B R Q の回数をカウントし、該カウントした B R Q の回数を払出設定数である 5 度数に相当する 5 回と比較する。

20

【 0 2 0 2 】

この比較において前記カウントした B R Q の回数が 5 度数に一致しない場合には、再び前述の 1 度分の払い出処理を実施するようになっており、前記した比較においてカウントした B R Q の回数が払出設定数である 5 度数に一致した場合には、B R D Y を H I G H とする。

【 0 2 0 3 】

そして、制御ユニット 3 2 8 は、表示部 3 1 2 の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）とから 1 2 5 玉の玉数を減算更新するとともに、管理コンピュータ 1 5 0 に対して、当該カードユニット 3 に固有に付与された装置 I D と、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カード I D と、払い出した玉数（1 2 5 玉）とを含む払い出完了通知を送信して、管理コンピュータ 1 5 0 の会員貯蓄管理テーブル或いはビジターコード貯蓄管理テーブルにて該（会員）カード I D に対応付けて記憶されている持玉数から払い出した玉数（1 2 5 玉）を減算更新させた後、S h 2 0 のカード回収判定処理に進む。

30

【 0 2 0 4 】

このカード回収判定処理においては、受付け中のカードが、減算更新後の計数済玉数（持玉数）が「0」であるビジターカードであるか否かを判定し、計数済玉数（持玉数）が「0」であるビジターカードである場合には、さらに、プリペイド残額も「0」であることを条件に、前述の貸出処理におけるプリペイド残額が「0」である場合と同じく、当該ビジターカードを回収した後、該払い出処理を終了して S b 2 ~ S b 1 0 の待機状態に戻る。

40

【 0 2 0 5 】

一方、S h 2 のステップにおける判定結果が、払い出設定数以上でないと判定結果である場合には、S h 3 のステップに進んで、計数済玉数が対応するパチンコ機 2 における払い出単位数である 2 5 玉以上であるか否かを判定する。

【 0 2 0 6 】

該判定において 2 5 玉以上でないと判定された場合、例えば、計数済玉数が 2 0 玉である場合には、S h 4 のステップに進んで、計数払出ユニット 3 4 8 から出力される前述の貯留玉数出力から特定される玉貯留部 3 5 5 に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）

50

が、該計数済玉数である 20 玉以上であるか否か、つまり、計数済玉数である 20 玉の払出しが可能であるか否かを判定する。

【0207】

該判定において、玉貯留部 355 に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）が、該計数済玉数である 20 玉以上でないと判定した場合、つまり、20 玉のパチンコ玉の払出しが不能である場合には、Sh7 のステップに進んで、表示部 312 に、「玉不足のため払出しができません。係員を呼んで下さい。」のメッセージを表示するとともに、多機能ランプ 301 の点灯状態を、貯玉残数エラーが発生したことを報知する所定の点灯様にて点灯させる貯玉残数エラー報知処理を実施する。

【0208】

この報知により玉貯留部 355 に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）が少ないことを把握した係員は、前述したように、リモコンを用いて、加算留保設定を実施して玉貯留部 355 にパチンコ玉を補充することで、玉貯留部 355 からのパチンコ玉の払出しが可能とされる。

【0209】

一方、Sh4 のステップにおける判定において、玉貯留部 355 に貯留されているパチンコ玉の玉数（残数）が、該計数済玉数である 20 玉以上であると判定した場合には Sh5 のステップに進んで、該計数済玉数である 20 玉の払出指示を計数払出ユニット 348 に対して出力する。

【0210】

この払出指示の入力に応じて計数払出ユニット 348 は、流路切替え用ソレノイド 353 によって流路切替え板 353' を、流入路 350 を塞ぐ位置に回動させて新たなパチンコ玉の計数を禁止するとともに、シャッタ 357 を、払出センサ 356 が 20 玉のパチンコ玉の通過を検出するまで開状態として、20 玉のパチンコ玉を計数して流出路 352 に払出す。尚、シャッタ 357 は、詳細には、払出センサ 356 にて 16 玉の通過を検出した段階において一度閉じられ、17 玉、18 玉、19 玉、20 玉と、1 玉づつシャッタ 357 を開くことで 20 玉のパチンコ玉が玉貯留部 355 から払出される。

【0211】

これら払出されたパチンコ玉は、流出路 352 並びに返却通路 344 を通じて返却口 342 に流下するので、該返却口 342 の開閉シャッタ 342' を遊技者が開放することで、これら払出された 20 玉のパチンコ玉を取り出すことができる。

【0212】

そして、払出指示に基づく 20 玉のパチンコ玉の払出しが完了した段階において計数払出ユニット 348 は、制御ユニット 328 に対して完了通知を出力する。

【0213】

この完了通知の入力に応じて制御ユニット 328 は、表示部 312 の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）とから、払出した玉数を減算更新する。これにより、計数済玉数および持玉数は「0」となる。

【0214】

そして、管理コンピュータ 150 に対して、当該カードユニット 3 に固有に付与された装置 ID と、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カード ID と、返却した玉数（20 玉）とを含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ 150 の会員貯蓄管理テーブル或いはビジターセンサ管理テーブルにて該（会員）カード ID に対応付けて記憶されている持玉数から返却した玉数（20 玉）を減算更新させて「0」とした後、上述した Sh20 のカード回収判定処理を実施した後、該払出処理を終了して Sb2 ~ Sb10 の待機状態に戻る。

【0215】

つまり、計数済玉数（持玉数）が払出単位である 1 度数に対応する 25 玉未満の端数である場合には、遊技者が払出ボタン 311 を操作することにより、該端数のパチンコ玉が

10

20

30

40

50

計数払出ユニット348内の玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉から払出されることで遊技者に返却されるようになっている。

【0216】

一方、Sh3における判定において、計数済玉数（持玉数）が25玉以上であると判定された場合には、Sh9のステップに進んで、該計数済玉数の範囲において払出が可能な最大払出単位と払出単位未満の端数とを特定した後、Sh10のステップに進むことで、該特定した最大払出単位の玉数を対応するパチンコ機2から払出させるとともに、上述したSh4とSh5のステップを実施することで、特定した端数のパチンコ玉が計数払出ユニット348から払出される。

【0217】

具体的に、例えば、持玉数（計数済玉数）が110玉である場合であれば、Sh9のステップにおいては、持玉数である110玉を払出単位である25玉で除した値の整数値である4を最大払出単位に相当する払出度数として特定するとともに、該払出単位である25玉で除した値の余りとなる払出単位未満の10玉を端数として特定する。

【0218】

そして、Sh10において、パチンコ機2より出力されるPRDYのHIGH/LOWを判定し、PRDYがLOWであることを条件に、BRDYをLOWに切替えた後、BRQをLOWとして、パチンコ機2からのEXSのHIGHの検出待ち状態となり、該EXSのLOWの検出に基づきBRQをHIGHに切替えることにより、1払出単位である1度数に相当する25玉のパチンコ玉の払い出しを実施させ、EXSのHIGHの検出待ち状態となる。

【0219】

次いで、パチンコ機2における1払出単位の払出が完了され、EXSのHIGHを検出すると、制御ユニット328は、BRQの回数をカウントし、該カウントしたBRQの回数を、Sh8のステップにて特定した払出度数である4度数に相当する4回と比較する。

【0220】

この比較において前記カウントしたBRQの回数が4度数に一致しない場合には、再び前述の1度分の払出処理を実施する一方、前記した比較においてカウントしたBRQの回数が払出設定数である4度数に一致した場合には、BRDYをHIGHとする。

【0221】

そして、制御ユニット328は、表示部312の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）とから、払出した4度数に相当する100玉を減算更新するとともに、管理コンピュータ150に対して、当該カードユニット3に固有に付与された装置IDと、受付け中の会員カード或いはビジターカードの（会員）カードIDと、払出した玉数（100玉）とを含む払出完了通知を送信して、管理コンピュータ150の会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルにて該（会員）カードIDに対応付けて記憶されている持玉数から払出した玉数（100玉）を減算更新させた後、Sh4とSh5のステップを実施することで、残りの端数である10玉のパチンコ玉が計数払出ユニット348から払出されるとともに、これら払出された端数の玉数が減算更新されて、表示部312の計数済玉数とカードテーブルの持玉数（受付け中のカードがビジターカードである場合には、該受付け中のビジターカードの持玉数）が全て「0」とされるとともに、管理コンピュータ150における当該受付け中のカードの持玉数も「0」とされる。

【0222】

つまり、計数済玉数（持玉数）が、払出単位である1度数に相当する25玉以上であって、払出設定数に対応する125玉未満であり、端数が存在する場合には、これら端数の払出すために、個別に払出ボタン311を操作することなく、該端数のパチンコ玉が計数払出ユニット348内の玉貯留部355に貯留されているパチンコ玉から払出されることで遊技者に返却されるようになっている。

【0223】

10

20

30

40

50

また、遊技者が所用で離席したい場合には、係員を呼んで、該係員が所持するリモコンにおいて離席操作を実施してもらい、離席モードに移行させが必要となる。

【0224】

このリモコンにおいて離席操作があった場合には、該リモコンから離席操作に応じた所定の赤外線信号が出力されることで、該赤外線信号がIR受光ユニット315にて離席操作を特定可能な所定の電気信号に変換されて表示制御基板329に出力されることで、表示制御基板329から制御ユニット328に対し、離席操作があった旨の離席操作情報が出力される。

【0225】

この離席操作情報の出力は、前述したSb2～Sb10の待機状態におけるSb8において検知されることで離席操作有りと判断され、Sb26に進んで離席処理を実施する。 10

【0226】

この離席処理において制御ユニット328は、まず、全ての操作を無効とともに、計数払出ユニット348に対して計数禁止指示を出力して、新たなパチンコ玉の計数を禁止する。

【0227】

そして制御ユニット328は、カードリーダライタ327に受付け中の（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）と持玉数とを、長い電源遮断等によりRAM328bのカードデータが消失しても、これらの（会員）カードID並びに会員IDの記憶が残るように、EEPROM328cの所定記憶領域に記憶した後、排出指示をカードリーダライタ327に出力して受付け中の会員カード或いはビジターカードをカード挿入口309から排出させ、表示部312に「離席中」の表示と経過時間（所定の離席時間の残り時間）の表示を開始するとともに、カード挿入可能化指示をカードリーダライタ327に出力することにより、該排出に伴って、シャッタ用ソレノイド399によりカード挿入口309のシャッタが没状態とされることで、カード挿入口309からのカード挿入のみを許可する離席モードに移行する。 20

【0228】

尚、本実施例では、前述したように、制御ユニット328のRAM328bは、電池によりバックアップされているため、（会員）カードID並びに会員ID（会員のみ）を離席モードの解消対象とするカードの情報として、RAM328b内の所定領域に改めて記憶しても良いし、或いは、本実施例のように、会員カード或いはビジターカードの受付け時ににおいてカードテーブルに（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）が既に記憶されている場合には、これら新たな（会員）カードID並びに会員IDの記憶の実施を省略して、該カードテーブルに既に記憶されている（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）を利用するようにしても良い。 30

【0229】

遊技者は、カード挿入口309から排出された会員カード或いはビジターカードを持参して離席すれば良い。

【0230】

尚、上述した離席モードへの移行に際して制御ユニット328は、装置IDと排出したカードの（会員）カードIDとを含む離席通知をシステムコントローラ100並びに管理コンピュータ150に送信することで、これら（会員）カードIDが離席カードとして登録されることにより、これら排出したカードが他のカードユニット3や振分け装置5や景品交換用POS端末170において受けられても、該カードに使用が不可とされて返却されるようになっている。 40

【0231】

そして、遊技者が所用を終えて遊技を再開する場合には、離席時に排出された会員カードまたはビジターカードをカード挿入口309に挿入すれば良く、該会員カードまたはビジターカードの挿入があった場合に制御ユニット328は、挿入された会員カードまたはビジターカードから（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）を読み出して 50

、EEPROM328cの所定記憶領域に記憶した（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）と一致するか否かを判定する。

【0232】

（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）が一致しない場合には、挿入された該会員カードまたはビジターカードを排出して離席モードを継続する一方、（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）が一致した場合には、EEPROM328cの所定記憶領域に記憶した（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）を消去するとともに、該離席モードの移行において実施した操作の禁止と計数禁止とを解除することで、離席モードから通常モードに移行して、Sb2～Sb10の待機状態に戻る。

【0233】

尚、離席した遊技者が所定の離席時間を経験しても戻らない場合等においては、離席モードを強制的に解除することができるようになっており、このように、離席モードの強制解除を行う場合において係員は、所持しているリモコンに設けられている強制解除ボタンを操作すれば良く、該強制解除ボタンの操作により、該リモコンから強制解除ボタンの操作（強制解除操作）に応じた所定の赤外線信号が出力されることで、該赤外線信号がIR受光ユニット315にて該強制解除操作を特定可能な所定の電気信号に変換されて表示制御基板329に出力されることで、表示制御基板329から制御ユニット328に対し、強制解除操作があった旨の強制解除操作情報が出力される。

【0234】

これら離席モード中において該強制解除操作情報の入力があった場合において制御ユニット328は、EEPROM328cの所定記憶領域に記憶した（会員）カードID並びに会員ID（会員カードのみ）と持玉数のデータを、強制解除履歴データとしてEEPROM328cの他の所定領域に記憶した後、該データを消去するとともに、カードテーブルをリセットする。

【0235】

そして、離席モードの移行において実施した操作の禁止と計数禁止を解除することで、離席モードから通常モードに移行して、Sb2～Sb10の待機状態に戻り、新たな会員カード或いはビジターカード並びに紙幣の受け付けが可能とされる。

【0236】

また、強制解除履歴データは、システムコントローラ100並びに管理コンピュータ150からの送信要求に応じて、或いは営業終了時の締め処理においてシステムコントローラ100並びに管理コンピュータ150の双方に送信され、該システムコントローラ100並びに管理コンピュータ150にて記憶・管理されることで、離席者によるクレームがあった場合でも、これらシステムコントローラ100或いは管理コンピュータ150に記憶・管理されている強制解除履歴データにより、システムコントローラ100或いは管理コンピュータ150のいずれかに障害が発生しても、当該離席者が所有する持玉数を確実に保証することができるようになっている。

【0237】

また、前述したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者が表示部312に表示されている図5に示すメインメニュー中の「振分け」メニューを選択入力した場合には、該「振分け」メニューの選択入力を検知した表示制御基板329から振分け操作情報が制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb9において振分け操作有りと判断してSb27に進み、図24に示す振分け処理を実施する。

【0238】

まず、本実施例の振分け処理において制御ユニット328は、はじめに、計数済玉数（持玉数）が変化しないように、払出ボタン311の操作を無効とともに、計数払出ユニット348に対して計数禁止指示を出力して新たなパチンコ玉の計数を禁止する（Sf0）。

【0239】

そして、計数済玉数、つまり、カードテーブルの持玉数が0であるか否か、つまり、持

10

20

30

40

50

玉数が存在するか否かを判定する(S f 1)。

【 0 2 4 0 】

計数済玉数(持玉数)が0である場合には、S f 2 1のステップに進み、受付け中のカードが会員カードであるか否かを判定する。

【 0 2 4 1 】

そして、会員カードでない場合には、該振分け処理を終了してS b 2 ~ S b 1 0の待機状態に戻る一方、会員カードである場合には、S f 2 2のステップに進んで、カードテーブルに記憶されている貯玉数の表示部と、該貯玉数から持玉数に加算する玉数の入力を受付ける加算貯玉数入力部と、暗証番号とを受付けるための暗証番号受付け部と、加算貯玉数入力部に加算貯玉数を入力するためのテンキー部とを有する図示しない貯玉利用画面を表示部3 1 2に表示して、持玉数への加算に使用する貯玉数を会員遊技者から受付ける。尚、該貯玉利用画面には、「決定」と「キャンセル」の選択入力部が設けられており、振分けを実施するために貯玉数から持玉数への加算を実施しない遊技者は、該「キャンセル」の選択入力部を選択入力することで、該振分け処理が終了される。10

【 0 2 4 2 】

また、貯玉数から持玉数への加算を実施したい場合において会員遊技者は、貯玉利用画面の下方に設けられているテンキーを操作して、持玉数への加算に使用する貯玉数を加算貯玉数入力部に入力した後、「決定」の選択入力部を選択入力する。

【 0 2 4 3 】

この「決定」の選択入力に応じて制御ユニット3 2 8は、S f 2 3のステップに進み、持玉数加算処理を実施した後、S f 2のステップに戻る。20

【 0 2 4 4 】

この持玉数加算処理において制御ユニット3 2 8は、まず、加算貯玉数入力部に入力された玉数が、カードテーブルに記憶されている貯玉数の範囲内であるか否かを判定し、範囲内ではない場合には、エラーを表示部3 1 2に表示して、持玉数加算処理を中止し、S f 2のステップに戻る一方、加算貯玉数入力部に入力された玉数が、カードテーブルに記憶されている貯玉数の範囲内である場合には、受付けた暗証番号がカードテーブルに記憶されている暗証番号と一致するか否かを判定する。

【 0 2 4 5 】

そして、暗証番号が一致する場合において、当該カードユニット3の装置IDと受付け中の会員カードIDと加算貯玉数入力部に入力された玉数である持玉加算貯玉数とを含む持玉数加算要求を管理コンピュータ1 5 0に対して送信する。30

【 0 2 4 6 】

この持玉数加算要求の受信に応じて管理コンピュータ1 5 0は、受信した持玉数加算要求に含まれる持玉加算貯玉数が、該受信した持玉数加算要求に含まれる会員カードIDに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている貯玉数の範囲内であるかを確認するとともに、該貯玉数の範囲内であることを条件に、該貯玉数から持玉加算貯玉数を減算更新するとともに、該玉加算貯玉数から所定の手数料(本実施例では、上述した再プレイ手数料と同じ)を差し引いた玉数を、該会員カードIDに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に加算更新し、加算更新後の持玉数と減算更新後の貯玉数と、受信した持玉数加算要求に含まれる会員カードIDとを含む持玉数加算完了通知を、持玉数加算要求の送信元のカードユニット3に対して返信する。尚、この際管理コンピュータ1 5 0は、受信した持玉数加算要求に含まれる装置IDに対応してユニット管理テーブルに記憶されている計数済玉数を加算更新後の持玉数に更新する。40

【 0 2 4 7 】

該持玉数加算完了通知の受信に応じて制御ユニット3 2 8は、カードテーブルの持玉数と貯玉数とを、該受信した持玉数加算完了通知に含まれる持玉数と貯玉数とに更新する。

【 0 2 4 8 】

このようにすることで、会員遊技者は、再プレイ操作により、貯玉数を一旦パチンコ機2において払出し、該払出したパチンコ玉を、下皿2 4から投入部3 4 5に投入して計数50

させて計数済玉数に加算をすることなく、簡便かつ迅速に、希望する貯玉数を持玉数に加算して、振分けに使用することができるようになる。

【0249】

一方、S f 1 のステップにおける判定において、計数済玉数（持玉数）が 0 でない場合には、S f 2 のステップに進み、図 28 (a) に示す振分け玉数受付け画面を表示部 312 に表示して、持玉数から振り分ける玉数（振分け玉数）を遊技者から受付ける振分け玉数受付け処理を実施する。

【0250】

この本実施例の振分け玉数受付け画面には、図 28 (a) に示すように、振分けに使用可能なその時点における計数済玉数（持玉数）が表示される持玉数表示部と、振分け玉数を入力するための振分け玉数入力部と、「決定」の選択入力部と、処理を中断するための「キャンセル」の選択入力部と、受付け中のカードが会員カードであるときに、貯玉数を持玉数に加算する際に操作される「貯玉利用」の選択入力部と、0 ~ 9 までのテンキーと、「半分」、「1 / 4」、「端数」のキーから成る操作部とが設けられており、遊技者は、これらテンキーや、半分」、「1 / 4」、「端数」の各キーを選択入力して、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力する。10

【0251】

尚、「半分」キーを選択入力した場合には、持玉数表示部に表示されている計数済玉数（持玉数）の半分の玉数（割り切れない場合の端数は切り捨て）が振分け玉数入力部に自動入力され、「1 / 4」キーを選択入力した場合には、計数済玉数（持玉数）の 1 / 4 の玉数（割り切れない場合の端数は切り捨て）が振分け玉数入力部に自動入力され、「端数」キーを選択入力した場合には、計数済玉数（持玉数）の 1000 玉未満の端数の玉数が振分け玉数入力部に自動入力される。20

【0252】

また、振分け玉数受付け画面において「貯玉利用」の選択入力部が選択入力された場合には、該「貯玉利用」の選択入力が S f 3 のステップにおいて検知されて S f 2 1 に進むことで、前述したように、受付け中のカードが会員カードであることを条件に、貯玉数を持玉数に加算する持玉数加算処理（S f 2 3）が実施されることにより、振分けに使用できる持玉数を、簡便かつ迅速に増やすことができるようになっている。

【0253】

また、遊技者が、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力した後に、「決定」の選択入力部を選択入力した場合には、該「決定」の選択入力に応じて S f 4 のステップにおいて、該振分け玉数入力部にて受けた振分け玉数が、計数済玉数（持玉数）以下であるか否かを判定し、計数済玉数（持玉数）以下でない場合には、S f 2 5 のステップに進んで、図 28 (e) の計数済玉数エラー画面を表示して計数済玉数が不足していることを遊技者に報知するとともに、該計数済玉数エラー画面の「確認」の選択入力部が、遊技者により選択入力されることに応じて、S f 2 のステップに戻ることにより、再度、振分け玉数の受付けが実施される。尚、処理を終了させたい場合には、計数済玉数エラー画面において「キャンセル」を選択入力すれば良い。30

【0254】

一方、S f 4 のステップの判定において、該振分け玉数入力部において受けた振分け玉数が、計数済玉数（持玉数）以下である場合には、S f 5 のステップに進み、図 25 (a) に示すように、管理コンピュータ 150 に対して、当該カードユニット 3 の装置 ID と、受付け中のカードの（会員）カード ID と、振分け玉数入力部において受けた振分け玉数と、カードテーブルに記憶されているその時点の計数済玉数（持玉数）とを含む振分け許諾要求を送信する。40

【0255】

この振分け許諾要求の受信に応じて管理コンピュータ 150 は、受信した振分け許諾要求に含まれる（会員）カード ID に対応付けて会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信した振分け許諾要求に含まれる計数済玉数50

(持玉数)とを比較し、双方が一致しないときには、会員貯蓄管理テーブル或いはビジター貯蓄管理テーブルの持玉数、並びにユニット管理テーブルにおける受信した装置IDに対応する計数済玉数を、受信した振分け許諾要求に含まれる計数済玉数(持玉数)に更新する。

【0256】

そして、前述した振分け設定画面(図20参照)において、振分け総数制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け総数制限に「する」が設定されている場合には、振分け設定画面において集計対象期間として設定されている期間、例えば1日において当該遊技場において振分けされたパチンコ玉の振分け総数(全体)を、振分け履歴テーブルにおいて、その当日の日付を含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。尚、本実施例では、これら振分け総数(全体)の集計を、振分け許諾要求の受信時に実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの集計を事前に実施しておくようにしても良い。10

【0257】

そして、該特定した振分け総数(全体)に、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数(全体)が、振分け設定画面において振分け総数制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【0258】

更に、前述した振分け設定画面において、振分け元上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け元上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば1日において、振分け元カードとなる受信した振分け許諾要求に含まれる(会員)カードIDから特定されるカードから振分けされたパチンコ玉の振分け総数(振分け元)を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け許諾要求に含まれる(会員)カードIDを含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。20

【0259】

尚、これら振分け総数(振分け元)を集計する場合において、カードIDがビジターカードのIDである場合には、該カードIDに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時から、該ビジターカードが最後に発行された日時を特定し、該特定した最後に発行された日時以降の日時情報を含む振分け履歴のみを集計対象とするようになっており、このようにすることで、繰返し利用されるビジターカードが最後に発行された遊技者から振分けされた振分け総数(振分け元)を正確に特定するようになっている。30

【0260】

そして、該特定した振分け総数(振分け元)に、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数(振分け元)が、振分け設定画面において振分け元上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【0261】

これら判定において、いずれかの制限数を超えている場合には、受信した振分け許諾要求に含まれるカードIDを含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数(全体)と制限数との差数(全体)と、受信した振分け許諾要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数(振分け元)と制限数との差数(振分け元)とをそれぞれ算出し、これら差数が共に正の値であるときに、これら差数の内の少ない方の差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信する。40

【0262】

一方、振分け総数制限並びに振分け元上限制限に、共に「しない」が設定されている場合、振分け総数制限および/または振分け元上限制限に「する」が設定されている場合であって、制限数を超えていないと判定した場合には、受信した振分け許諾要求に含まれる(会員)カードIDを含む振分け許諾を返信する。50

【0263】

制御ユニット328は、管理コンピュータ150からの返信が、振分け許諾であるか否かをSf6のステップにて判定し、振分け不可である場合には、Sf6のステップにて「No」と判定されてSf24のステップに進んで制限玉数エラー画面表示を実施することにより、表示部312には、図28(f)に示すように、振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、Sf2のステップに戻る。

【0264】

これにより遊技者は、振分け可能玉数を認識することができるので、該振分け可能玉数をSf2のステップにおいて再度、振分け玉数として入力することで、繰返し、制限玉数エラーとなってしまうことを回避できる。10

【0265】

一方、管理コンピュータ150からの返信が振分け許諾である場合には、Sf6のステップにて「Yes」と判定されてSf7のステップに進み、カード挿入可能化指示をカードリーダライタ327に出力することで、カード挿入口309への新たなカードの挿入を許可するとともに、図28(b)に示すように、振分け玉数の表示部と、振分け先のカードの挿入を促すメッセージの表示部と、振分け先のカードが無い場合におけるビジターカードの新規発行の操作を受付ける新規発行選択入力部を有する新規発行受付け画面を表示部312に表示した後、Sf8のステップとSf9のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力が有るか、カード挿入口309への新たなカードの挿入が有るかを監視する。20

【0266】

振分け先の遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していない場合には、新規発行選択入力部を選択入力すれば良く、該新規発行選択入力部の選択入力がSf8のステップにて発行受付け有りと検知されてSf10のステップに進んで、受付け中のカードが会員カードであるか否かを判定し、会員カードでない場合、つまり、受付け中のカードがビジターカードである場合には、Sf11に進んでビジター用発行振分け処理を実施する一方、受付け中のカードが会員カードである場合には、Sf12に進んで会員用発行振分け処理を実施する。

【0267】

Sf11のビジター用発行振分け処理において制御ユニット328は、まず、受付け中のビジターカードを、カードリーダライタ327のカード挿入口309側の退避位置に退避させて保持するとともに、カードリーダライタ327内の所定の読み出し位置に、カード貯留部370に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードIDの読み出しを実施して一時記憶する。30

【0268】

そして、該読み出したカードID(新)と、カードテーブルに記憶されている退避位置に退避させたビジターカードのカードID(旧)と振分け玉数と、当該カードユニット3の装置IDを含む発行振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

【0269】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、受信した発行振分け要求にビジターカードのカードID(新)とカードID(旧)とが含まれる、つまり、2つのビジターカードのカードIDが含まれることにより、ビジターカードの交換が行われるビジター用発行振分け処理であると判定し、受信した発行振分け要求に含まれるカードID(旧)に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と最新発行日時とを特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、該減算更新後の持玉数と特定した最新発行日時とを、受信した発行振分け要求に含まれるカードID(新)に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と最新発行日時に記憶し、カードID(旧)に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「0」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶4050

する。

【0270】

さらに、ユニット管理テーブルにおいて受信した発行振分け要求に含まれる装置IDに対応する「受付けID」のデータにカードID(新)を更新記憶するとともに、「計数済玉数」のデータに振分け玉数が減算された持玉数を更新記憶する。

【0271】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとしてカードID(旧)と、振分け元のカードとしてカードID(新)と、発行を示す「1」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。 10

【0272】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、一時記憶しているカードID(新)と、カードテーブルに記憶されているカードID(旧)とプリペイド残額とを含むカード交換要求をシステムコントローラ100に送信する。

【0273】

このカード交換要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、ビジターカードテーブルにカードID(旧)に対応付けて記憶されているプリペイド残額と最新発行日時とを特定し、該特定したプリペイド残額が受信したプリペイド残額とが一致することを条件に、該特定したプリペイド残額と最新発行日時とを、受信した発行振分け要求に含まれるカードID(新)に対応するプリペイド残額と最新発行日時とに記憶し、対応する「状況」を「利用中」に更新するとともに、カードID(旧)に対応付けて記憶されているプリペイド残額を「0」に、最新発行日時にその時点の日時を更新記憶した後、カード交換完了通知を返信する。 20

【0274】

つまり、カード貯留部370に貯留されているビジターカードを振分け元のカードとし、それまで受付けていたビジターカードを新たに発行して振分け先のカードとするために、データの対応付けの付け替えを実施する。

【0275】

このカード交換完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、一時記憶しているカードID(新)を、カードテーブルのカードIDに更新記憶するとともに、該カードID(新)のカードに対して、カードテーブルに記憶されているプリペイド残額と持玉数とを書き込み記憶した後、該カードID(新)のカードを、一旦、カード貯留部370に退避させることで、カード挿入口309側の待機位置に保持しているカードID(旧)のビジターカードを所定の読み出し位置まで移動させ、プリペイド残額と持玉数とを「0」に更新するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新する。 30

【0276】

そして、これらの更新が完了した後、カードID(旧)のビジターカード、つまり、振分け操作の受付け時点において受付け中であったビジターカードをカード挿入口309から排出するとともに、カード貯留部370に退避させていたカードID(新)のカードを、所定の読み出し位置まで移動させ、表示部312に、図28(c)に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージを、該排出したビジターカードがカード挿入口309から取り出されるまで表示して、当該ビジター用発行振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Sf0にて実施した計数禁止と払出ボタン311の操作無効が解除される。 40

【0277】

このように、本実施例のビジター用発行振分け処理においては、振分け操作の受付け時点において受付け中であったビジターカードを振分け先のビジターカードとして発行するようになっているので、遊技者は、新たなビジターカードを発行するために、振分け操作の受付け時点において受付け中であったビジターカードを一度排出して、新たなビジターカードを発行させ、該発行の終了後に再度、ビジターカードを挿入する必要(手間)がなく 50

、これらビジターカードの発行をスムーズに行うことができるとともに、一度排出したビジターカードが紛失されてしまうこともない。

【0278】

尚、これら発行されたビジターカードは、前述したように、他のカードユニット3に挿入することで、振分けされた振分け玉数が持玉数に加算されて計数済玉数として表示部312に表示されることで、該持玉数を、払出ボタン311を操作して払出すことができる。

【0279】

また、Sf12の会員用発行振分け処理において制御ユニット328は、まず、受付け中の会員カードを、カードリーダライタ327のカード挿入口309側の退避位置に退避させて保持するとともに、カードリーダライタ327内の所定の読み出し位置に、カード貯留部370に貯留されているビジターカードを移動させて該ビジターカードのカードIDの読み出しを実施して一時記憶する。
10

【0280】

そして、該読み出したカードIDと、カードテーブルに記憶されている会員カードIDと振分け玉数と当該カードユニット3の装置IDを含む発行振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

【0281】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、受信した発行振分け要求にビジターカードのカードIDと会員カードIDとが含まれることにより、会員用発行振分け処理であると判定し、受信した発行振分け要求に含まれる会員カードIDに対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、受信した発行振分け要求に含まれるビジターカードのカードIDに対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数に「0」を、最新発行日時に当該時点の日時を更新記憶する。
20

【0282】

さらに、ユニット管理テーブルにおいて受信した発行振分け要求に含まれる装置IDに対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【0283】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した発行振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとしてカードIDと、振分け元のカードとして会員カードIDと、発行を示す「1」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。
30

【0284】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、一時記憶しているビジターカードのカードIDを含む振分け発行要求をシステムコントローラ100に送信する。

【0285】

この振分け発行要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、受信した振分け発行要求に含まれるカードIDに対応付けてビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「0」を、最新発行日時にその時点の日時を、「状況」に「使用中」を更新記憶した後、振分け発行完了通知を返信する。
40

【0286】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「0」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新する。

【0287】

そして、システムコントローラ100に対して、カードテーブルに記憶されている会員カードIDを含む使用留保要求を送信して、該会員カードの他のカードユニット3における利用を不可とした後、カード挿入口309側の待機位置に保持している会員カードを、
50

カード挿入口 309 から排出するとともに、図 28 (d) に示すように、「返却された会員カードを取り出すと、振分け用のビジターカードが発行されます。」のメッセージを表示部 312 に表示して、排出した会員カードの取り出しを促す。

【0288】

このメッセージの表示に応じて会員遊技者が、自身の会員カードをカード挿入口 309 から取り出すと、該取り出しに応じてビジターカードが即座にカード挿入口 309 から排出されるとともに、図 28 (c) に示すように、「発行されたビジターカードをお取り下さい。」のメッセージが表示部 312 に表示される。

【0289】

会員遊技者は、カード挿入口 309 に排出されたビジターカードを取り出して振分けをする他の遊技者に手渡すとともに、自身の会員カードを再度カード挿入口 309 から挿入する。

10

【0290】

この会員カードの挿入に応じて制御ユニット 328 は、該再挿入された会員カードから読み出した会員カード ID が、カードテーブルに記憶されている会員カード ID に一致するか否かを判定し、一致しないときには該カードを返却してエラーを係員に報知するエラーレポート状態に移行する一方、一致するときには該会員用発行振分け処理を終了する。

【0291】

一方、Sf8 と Sf9 のステップによる監視状態においてカード挿入口 309 への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入が Sf9 のステップにおいて検知されて Sf14 のステップに進み、受付け中のカードをカード貯留部 370 に移動して退避するとともに、新たに挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。

20

【0292】

新たに挿入されたカードが会員カードである場合には Sf15 のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Sf16 にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードも会員カードである会員対会員振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Sf17 のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードが会員カードであるビジター対会員振分け処理を実施する。

30

【0293】

一方、新たに挿入されたカードがビジターカードである場合には Sf18 のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Sf19 にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードがビジターカードである会員対ビジター振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Sf20 のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードもビジターカードであるビジター対ビジター振分け処理を実施する。

40

【0294】

本実施例の Sf16 の会員対会員振分け処理において制御ユニット 328 は、図 25 (b) に示すように、当該カードユニット 3 の装置 ID と、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カード ID (振分け先) と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カード ID (振分け元) と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ 150 に対して送信する。

【0295】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ 150 は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カード ID (振

50

分け先)を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「0」である振分け履歴が存在するかを検索する。

【0296】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えは1日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け先)から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数(振分け先)を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け先)を振分け先カードとして含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。
10

【0297】

そして、該特定した振分け総数(振分け先)に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数(振分け先)が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【0298】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数(振分け先)と制限数との差数(振分け先)とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット3においては、図28(c)と同様のエラー画面が表示された後、Sf2のステップに戻り、これらSf2のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。
20

【0299】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置IDに対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。
30

【0300】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとして会員カードID(振分け先)と、振分け元のカードとして会員カードID(振分け元)と、非発行を示す「0」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)を含む振分け完了通知を返信する。

【0301】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新してカード挿入口309から返却し、カード貯留部370に一時退避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部312に、図28(g)に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該会員対会員振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Sf0にて実施した計数禁止と払出ボタン311の操作無効が解除される。
40

【0302】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット3に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け玉数が持玉数に加算されて使用可能となる
50

。

【0303】

本実施例の S f 1 7 のビジター対会員振分け処理において制御ユニット 3 2 8 は、図 2 5 (b) に示すように、当該カードユニット 3 の装置 I D と、挿入された振分け先の会員カードから読み出した会員カード I D (振分け先) と、カードテーブルに記憶している振分け元のビジターカードのカード I D (振分け元) と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ 1 5 0 に対して送信する。

【0304】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ 1 5 0 は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カード I D (振分け先) を含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「 0 」である振分け履歴が存在するかを検索する。
10

【0305】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け元) を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば 1 日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれる会員カード I D (振分け先) から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数 (振分け先) を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれる会員カード I D (振分け先) を振分け先カードとして含む全ての振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。
20

【0306】

そして、該特定した振分け総数 (振分け先) に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数 (振分け先) が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【0307】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け元) を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数 (振分け先) と制限数との差数 (振分け先) とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット 3 においては、図 2 8 (c) と同様のエラー画面が表示された後、S f 2 のステップに戻り、これら S f 2 のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。
30

【0308】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け元) に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置 I D に対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。
40

【0309】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置 I D と、振分け先のカードとして会員カード I D (振分け先) と、振分け元のカードとしてカード I D (振分け元) と、非発行を示す「 0 」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「 0 」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれるカード I D (振分け元) を含む振分け完了通知を返信する。

【0310】

50

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新してカード挿入口309から返却し、カード貯留部370に一時退避させていた振分け元のビジターカードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部312に、図28(g)に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先の会員カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Sf0にて実施した計数禁止と払出ボタン311の操作無効が解除される。

【0311】

これら返却された振分け先の会員カードは、他のカードユニット3に挿入されることで、振分け履歴テーブルに記憶されている振分け玉数が持玉数に加算されて使用可能となる。
。

10

【0312】

本実施例のSf19の会員対ビジター振分け処理において制御ユニット328は、図25(b)に示すように、当該カードユニット3の装置IDと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードID(振分け先)と、カードテーブルに記憶している振分け元の会員カードの会員カードID(振分け元)と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

【0313】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け先)を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「0」である振分け履歴が存在するかを検索する。
。

20

【0314】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば1日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け先)から特定されるカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数(振分け先)を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれるカードID(振分け先)を振分け先カードとして含む振分け履歴であって、該カードID(振分け先)に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時以降の日時情報を含む振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。
。

30

【0315】

そして、該特定した振分け総数(振分け先)に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数(振分け先)が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【0316】

40

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合には、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数(振分け先)と制限数との差数(振分け先)とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット3においては、図28(c)と同様のエラー画面が表示された後、Sf2のステップに戻り、これらSf2のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

【0317】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されてい
。

50

る場合には、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤに対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。

【0318】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置ＩＤと、振分け先のカードとしてカードＩＤ（振分け先）と、振分け元のカードとして会員カードＩＤ（振分け元）と、非発行を示す「0」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれる会員カードＩＤ（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。10

【0319】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新してカード挿入口309から返却し、カード貯留部370に一時退避させていた振分け元の会員カードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部312に、図28(g)に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該会員対ビジター振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Sf0にて実施した計数禁止と払出ボタン311の操作無効が解除される。20

【0320】

本実施例のSf20のビジター対ビジター振分け処理において制御ユニット328は、図25(b)に示すように、当該カードユニット3の装置ＩＤと、挿入された振分け先のビジターカードから読み出したカードＩＤ（振分け先）と、カードテーブルに記憶している振分け元のビジターカードのカードＩＤ（振分け元）と、振分け玉数とを含む振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。20

【0321】

この振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、前述した振分け設定画面において、連続振分け制限に「する」が設定されているか否かを判定し、連続振分け制限に「する」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含み、利用受付けのデータが非受付けを示す「0」である振分け履歴が存在するかを検索する。30

【0322】

該検索により存在する場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する一方、検索により存在しない場合並びに連続振分け制限に「しない」が設定されている場合には、更に、前述した振分け設定画面において、振分け先上限制限に「する」が設定されているか否かを判定し、振分け先上限制限に「する」が設定されている場合には、集計対象期間として設定されている期間である例えば1日において、振分け先カードとなる受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）から特定されるビジターカードに振分けされたパチンコ玉の振分け総数（振分け先）を、その当日の日付を含むとともに受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け先）を振分け先カードとして含む振分け履歴であって、該カードＩＤ（振分け先）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている最新発行日時以降の日時情報を含む振分け履歴の振分け玉数を合計することにより特定する。40

【0323】

そして、該特定した振分け総数（振分け先）に、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算した後の振分け総数（振分け先）が、振分け設定画面において振分け先上限制限の項目にて設定されている制限数を超えているか否かを判定する。

【0324】

該判定において、制限数を超えている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードＩＤ（振分け元）を含む振分け不可を返信する。尚、これら振分け不可を返信する場合に50

は、受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を加算前の振分け総数（振分け先）と制限数との差数（振分け先）とを算出し、これら差数が正の値であるときに該差数を振分け可能数として特定し、該特定した振分け可能数を含む振分け不可を返信することで、カードユニット3においては、図28(c)と同様のエラー画面が表示された後、Sf2のステップに戻り、これらSf2のステップにおいて再度、振分け可能玉数を振分け玉数として入力することで、確実に振分けを受けることができる。

【0325】

一方、制限数を超えていない場合並びに振分け先上限制限に「しない」が設定されている場合には、受信した振分け要求に含まれるカードID（振分け元）に対応付けてビジターセントラル管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新するとともに、ユニット管理テーブルにおいて受信した振分け要求に含まれる装置IDに対応する「計数済玉数」のデータを、振分け玉数を減算更新した後の持玉数に更新する。10

【0326】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとしてカードID（振分け先）と、振分け元のカードとしてカードID（振分け元）と、非発行を示す「0」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、受信した振分け要求に含まれるカードID（振分け元）を含む振分け完了通知を返信する。

【0327】

この振分け完了通知の受信に応じて制御ユニット328は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新してカード挿入口309から返却し、カード貯留部370に一時退避させていた振分け元のビジターカードを所定の読み出し位置に戻すとともに、表示部312に、図28(g)に示すように、「返却されたカードをお取り下さい」のメッセージを表示して、返却した振分け先のビジターカードの取り出しを促し、該ビジター対ビジター振分け処理を終了する。尚、処理終了においては、Sf0にて実施した計数禁止と払出ボタン311の操作無効が解除される。20

【0328】

また、前述したSb2～Sb10の待機状態において、遊技者がメニューボタン316の操作を実施した場合には、該メニューボタン316の操作を検知した表示制御基板329からメインメニュー表示操作情報が制御ユニット328に入力されることで、制御ユニット328は、Sb10においてメニューボタン316の操作有りと判断してSb28に進み、図示しないメニュー表示処理を実施する。30

【0329】

このメニュー表示処理において制御ユニット328は、まず、カードテーブルに記憶されているデータに基づいて、対応するパチンコ機2で遊技中の遊技者が会員であるか否か（会員IDが記憶されているか否か）を判定し、遊技者が会員でない場合（会員IDが記憶されていない場合）には、会員固有のメニュー項目を含まない「台データ」、「ランキング」、「お知らせ」、「振分け」の各メニュー項目のみを含むビジターメインメニュー（図5参照）を、ビジターメインメニュー表示指示を表示制御基板329に出力することにより、表示部312に表示させる一方、遊技者が会員である場合には、会員固有のメニュー項目である「ポイント表示」、「再プレイ」のメニュー項目とをさらに含む、図5に示す会員メインメニューを、会員メインメニュー表示指示を表示制御基板329に出力することにより表示部312に表示させる。40

【0330】

これら表示部312に表示された各メニュー項目は、遊技者が選択操作可能とされており、所定時間内にいずれかのメニュー項目が選択されない場合には、メニュー表示終了指示を表示制御基板329に出力することでメインメニューの表示を終了させた後、Sb2～Sb10の待機状態に戻る一方、所定時間内にいずれかのメニュー項目が選択された場合には、該選択されたメニュー項目に該当する処理を実行した後、Sb2～Sb10の待50

機状態に戻る。

【0331】

尚、メインメニュー中の「再プレイ」メニューが選択された場合には、前述した S b 2 4 の再プレイ処理が実行される。

【0332】

また、「台データ」のメニューが選択された場合には、遊技情報テーブルに記憶されている本日の各データが表示され、「ランキング」のメニューが選択された場合には、ランキングの種別、具体的には、出玉ランキング、大当たりランキング、連荘ランキング等を選択するサブメニュー画面が表示され、該サブメニュー画面にて選択された種別のランキングデータがホールコンピュータ 140 から取得されて表示部 312 に表示される。 10

【0333】

また、「ポイント表示」のメニューが選択された場合には、カードテーブルに記憶されている来店ポイントのポイント数（来店ポイントの記憶がない場合には、来店ポイント取得要求を管理コンピュータ 150 に対して送信することにより、該管理コンピュータ 150 から来店ポイント数を取得する）が表示部 312 に表示され、「お知らせ」のメニューが選択された場合には、RAM 328b 内に記憶されているお知らせ情報が表示部 312 に表示される。

【0334】

尚、表示部 312 の下方の「計数済玉数」の表示は、メインメニューとは異なり、常に表示部 312 の下方において表示されることで、遊技者は、常時、計数済玉数の数値を確認できるようになっている。 20

【0335】

次に、本実施例の振分け装置 5 の動作について図 29 を用いて以下に説明する。本実施例の振分け装置 5 は、前述したカードユニット 3 において振分け操作が実施された際に実施される図 24 に示す振分け処理と同様の処理を行うものであり、その特徴としては、カードユニット 3 と異なり、パチンコ機 2 間に設置されていないので、その幅を大きく取ることができることから、前述したように、左右に配置された 2 つのカード挿入口を有していて、振分け元のカードと、振分け先のカードとを個別のカード挿入口にて受け付けることができるようになっている。 30

【0336】

通常において、振分け装置 5 の表示装置 501 には、図 29 (a) に示すように、カードを挿入して下さいのメッセージが表示されているとともに、装置に向かって左の第 1 カード挿入口 504 に対応する第 1 挿入口 LED 506 が点滅点灯されることで、該第 1 カード挿入口 504 への振分け元のカードの挿入を促すようになっている。

【0337】

振分けを実施したい遊技者は、自身が所持しているビジターカード或いは会員カードを第 1 カード挿入口 504 に挿入する。

【0338】

このカード挿入に応じて、該挿入されたカードに記憶されている（会員）カード ID や持玉数等の情報が該第 1 カード挿入口 504 に対応する第 1 カードリーダライタ 508 により読み出されて制御部 510 に出力される。 40

【0339】

この出力を受けて制御部 510 は、挿入されたカードから読み出した情報を図示しない RAM の所定の記憶領域に記憶するとともに、挿入されたカードの（会員）カード ID、持玉数（ビジターカードのみ）、当該振分け装置の装置 ID とを含むカード受付け通知を送信する。

【0340】

このカード受付け通知の受信に応じて管理コンピュータ 150 は、まず、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数が存在するか否かを判定し、存在する場合には、該持玉数を照合する照合処理を行う。 50

【 0 3 4 1 】

具体的には、受信したカード受付け通知に含まれるカードＩＤに対応してビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数と、受信したカード受付け通知に含まれる持玉数とが一致するか否かを判定する。

【 0 3 4 2 】

該照合判定において一致しない場合には、受信したカード受付け通知の送信元の振分け装置5に対し、持玉数の照合がNGである旨の照合エラー情報を返信することで、該振分け装置5において該ビジターカードが返却される。

【 0 3 4 3 】

一方、該照合判定において一致する場合には受付け処理完了通知を返信するとともに、受信したカード受付け通知に持玉数が含まれていない場合、つまり、挿入されたカードが会員カードである場合には、受信したカード受付け通知に含まれる会員カードIDに対応する持玉数、貯玉数を、会員貯蓄管理テーブルにおいて該会員カードIDに対応して記憶されている各データから特定するとともに、該会員カードIDに対応して会員情報テーブルに記憶されている暗証番号を更に特定し、これら特定した持玉数、貯玉数、暗証番号と、会員カードIDとを含む受付け処理完了通知を、受信したカード受付け通知の送信元の振分け装置5に対して返信する。10

【 0 3 4 4 】

この受付け処理完了通知の受信に応じて制御部510は、カードから読み出したカードIDが会員カードIDである場合には、受信した受付け処理完了通知に含まれる持玉数、貯玉数、暗証番号を、図示しないRAMの所定の記憶領域に格納する。20

【 0 3 4 5 】

そして、RAMの所定の記憶領域に記憶している持玉数が0であるか否か、つまり、持玉数が存在するか否かを判定する(Sf1)。

【 0 3 4 6 】

持玉数が0である場合には、カードユニット3の場合と同じく、前述したSf21～Sf23の処理を実施することにより、挿入されたカードが会員カードである場合において、貯玉数を使用して持玉数を増加させることができる。

【 0 3 4 7 】

一方、Sf1のステップにおける判定において、計数済玉数(持玉数)が0でない場合には、Sf2のステップに進み、図29(b)に示す振分け玉数受付け画面を表示装置501に表示して、持玉数から振り分ける玉数(振分け玉数)を遊技者から受付ける振分け玉数受付け処理を実施する。30

【 0 3 4 8 】

この本実施例の振分け玉数受付け画面は、カードユニット3における振分け玉数受付け画面(図28(b))お同じであるので、ここでの説明は省略する。

【 0 3 4 9 】

遊技者が、振分け玉数入力部に所望する振分け玉数を入力した後に、「決定」の選択入力部を選択入力した場合には、該「決定」の選択入力に応じてSf4のステップにおいて、該振分け玉数入力部にて受付けた振分け玉数が、計数済玉数(持玉数)以下であるか否かを判定し、計数済玉数(持玉数)以下でない場合には、Sf25のステップに進んで、カードユニット3における図28(e)と同様の計数済玉数エラー画面を表示して計数済玉数が不足していることを遊技者に報知するとともに、該計数済玉数エラー画面の「確認」の選択入力部が、遊技者により選択入力されることに応じて、Sf2のステップに戻ることにより、再度、振分け玉数の受付けが実施される。尚、処理を終了させたい場合には、計数済玉数エラー画面において「キャンセル」を選択入力すれば良い。40

【 0 3 5 0 】

一方、Sf4のステップの判定において、該振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数が、計数済玉数(持玉数)以下である場合には、Sf5のステップに進み、図25(a)に示すように、管理コンピュータ150に対して、当該振分け装置5の装置IDと、50

受付け中のカードの（会員）カードＩＤと、振分け玉数入力部において受付けた振分け玉数と、カードテーブルに記憶されているその時点の計数済玉数（持玉数）とを含む振分け許諾要求を送信することで、前述したカードユニット3の場合と同様に、振分け総数制限や振分け元上限制限の設定の有無に応じて、振分け総数制限や振分け元上限制限に該当するか否かが判定され、該当する場合には振分け不可が管理コンピュータ150から返信され、該当しない場合または振分け総数制限や振分け元上限制限が設定されていない場合には、振分け許諾が管理コンピュータ150から返信される。

【0351】

制御部510は、管理コンピュータ150からの返信が、振分け許諾であるか否かをSf6のステップにて判定し、振分け不可である場合には、Sf6のステップにて「No」と判定されてSf24のステップに進んで制限玉数エラー画面表示を実施することにより、表示装置501には、図28(f)と同じく、振分け可能玉数の表示を含む制限玉数エラー画面を表示して振分け可能玉数を遊技者に報知した後、Sf2のステップに戻る。10

【0352】

一方、管理コンピュータ150からの返信が振分け許諾である場合には、Sf6のステップにて「Yes」と判定されてSf7のステップに進んで、図29(c)に示すように、振分け玉数の表示部と、振分け先のカードの挿入を促すメッセージの表示部と、振分け先のカードが無い場合におけるビジターカードの新規発行の操作を受付ける新規発行選択入力部を有する新規発行受付け画面を表示装置501に表示し、第2挿入口LED507を点滅状態として、該第2挿入口LED507が対応する第2カード挿入口505への振分け先カードの挿入を促した後、Sf8のステップとSf9のステップを巡回する監視状態に移行して、新規発行選択入力部の選択入力が有るか、第2カード挿入口505への新たなカードの挿入が有るかを監視する。20

【0353】

振分け先の遊技者が、ビジターカードまたは会員カードを所持していない場合には、新規発行選択入力部を選択入力すれば良く、該新規発行選択入力部の選択入力がSf8のステップにて発行受付け有りと検知されてSf10のステップに進んで、受付け中のカードが会員カードであるか否かを判定し、会員カードでない場合、つまり、受付け中のカードがビジターカードである場合には、Sf11に進んでビジター用発行振分け処理を実施する一方、受付け中のカードが会員カードである場合には、Sf12に進んで会員用発行振分け処理を実施する。30

【0354】

Sf11のビジター用発行振分け処理において制御部510は、第2カードリーダライタ509のカード貯留部（図示せず）に貯留されているビジターカードを所定の読み出し位置に移動させて、該該ビジターカードのカードIDの読み出しを実施して一時記憶する。

【0355】

そして、該読み出したカードID（振分け先）と、第1カードリーダライタ508に受付け中のビジターカードのカードID（振分け元）と振分け玉数と、装置IDとを含む発行振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。40

【0356】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、受信した発行振分け要求に含まれるカードID（振分け元）に対応付けてビジター貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新する。

【0357】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとしてカードID（振分け先）と、振分け元のカードとしてカードID（振分け元）と、発行を示す「1」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信50

する。

【0358】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御部510は、振分け元のビジターカードに記憶されている持玉数を、振分け玉数を減じた持玉数に更新した後、振分け先のビジターカードから読み出したカードIDを含む振分け発行要求をシステムコントローラ100に送信する。

【0359】

この振分け発行要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、受信した振分け発行要求に含まれるカードIDに対応付けてビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「0」を、最新発行日時にその時点の日時を、「状況」に「使用中」を更新記憶した後、振分け発行完了通知を返信する。10

【0360】

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御部510は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「0」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新した後、第1カード挿入口504から振分け元のビジターカードを排出して返却するとともに、第2カード挿入口505から振分け先のビジターカードを排出して発行し、表示装置501に、図29(d)に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第1挿入口LED506と第2挿入口LED507とを点滅点灯させて、該排出されたビジターカードの取り出しを促し、該ビジター用発行振分け処理を終了する。20

【0361】

また、Sf12の会員用発行振分け処理において制御部510は、第2カードリーダライタ509のカード貯留部(図示せず)に貯留されているビジターカードを所定の読み出し位置に移動させて、該該ビジターカードのカードIDの読み出しを実施して一時記憶する。

【0362】

そして、該読み出したカードID(振分け先)と、第1カードリーダライタ508に受け中の会員カードの会員カードID(振分け元)と振分け玉数と、装置IDとを含む発行振分け要求を管理コンピュータ150に対して送信する。

【0363】

この発行振分け要求の受信に応じて管理コンピュータ150は、受信した発行振分け要求に含まれる会員カードID(振分け元)に対応付けて会員貯蓄管理テーブルに記憶されている持玉数を特定し、該特定した持玉数から受信した発行振分け要求に含まれる振分け玉数を減算更新する。30

【0364】

そして、振分け履歴として、その時点の日時と、受信した振分け要求に含まれる装置IDと、振分け先のカードとしてカードID(振分け先)と、振分け元のカードとして会員カードID(振分け元)と、発行を示す「1」と、振分け玉数と、利用受付け無しを示す「0」とを含む振分け履歴を、振分け履歴テーブルに登録した後、発行振分け完了通知を返信する。40

【0365】

この発行振分け完了通知の受信に応じて制御部510は、振分け先のビジターカードから読み出したカードIDを含む振分け発行要求をシステムコントローラ100に送信する。

【0366】

この振分け発行要求の受信に応じてシステムコントローラ100は、受信した振分け発行要求に含まれるカードIDに対応付けてビジターカードテーブルに記憶されているプリペイド残額に「0」を、最新発行日時にその時点の日時を、「状況」に「使用中」を更新記憶した後、振分け発行完了通知を返信する。

【0367】

10

20

30

40

50

この振分け発行完了通知の受信に応じて制御部 510 は、発行するビジターカードにプリペイド残額と持玉数として「0」を書き込み記憶するとともに、振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更新した後、第1カード挿入口 504 から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第2カード挿入口 505 から振分け先のビジターカードを排出して発行し、表示装置 501 に、図 29 (d) に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第1挿入口 LED 506 と第2挿入口 LED 507 とを点滅点灯させて、該排出されたビジターカードの取り出しを促し、該会員用発行振分け処理を終了する。

【0368】

一方、Sf8 と Sf9 のステップによる監視状態において第2カード挿入口 505 への新たなカードの挿入が有った場合には、該カードの挿入が Sf9 のステップにおいて検知されて Sf14 のステップに進み、第2カード挿入口 505 に挿入されたカードの記録情報を読み出して、新たに挿入されたカードが会員カードであるか否かを判定する。 10

【0369】

挿入されたカードが会員カードである場合には Sf15 のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に第1カードリーダライタ 508 に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Sf16 にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードも会員カードである会員対会員振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Sf17 のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードが会員カードであるビジター対会員振分け処理を実施する。 20

【0370】

一方、挿入されたカードがビジターカードである場合には Sf18 のステップに進み、更に、該カードが挿入される前に第1カードリーダライタ 508 に受付けていた振分け元カードが会員カードであるか否かを判定し、振分け元カードが会員カードである場合には、Sf19 にステップに進んで、振分け元カードが会員カードであって、振分け先カードがビジターカードである会員対ビジター振分け処理を実施し、カードが挿入される前に受付けていた振分け元カードが会員カードでない場合には、Sf20 のステップに進んで、振分け元カードがビジターカードであって、振分け先カードもビジターカードであるビジター対ビジター振分け処理を実施する。 30

【0371】

これら振分け装置 5 において実施される Sf16 の会員対会員振分け処理は、カードユニット 3 における会員対会員振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ 150 から振分け完了通知の受信した場合において制御部 510 は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更した後、第1カード挿入口 504 から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第2カード挿入口 505 から振分け先の会員カードを排出して返却し、表示装置 501 に、図 29 (d) に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第1挿入口 LED 506 と第2挿入口 LED 507 とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該会員対会員振分け処理を終了する。 40

【0372】

また、振分け装置 5 において実施される Sf17 のビジター対会員振分け処理も、カードユニット 3 におけるビジター対会員振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ 150 から振分け完了通知の受信した場合において制御部 510 は、振分け先の会員カードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更した後、第1カード挿入口 504 から、振分け玉数が持玉数から減算更新された振分け元のビジターカードを排出して返却するとともに、第2カード挿入口 505 から振分け先の会員カードを排出して返却し、表示装置 501 に、図 29 (d) に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第1挿入口 LED 506 と第2挿入口 LED 507 とを点滅点灯させて、 50

該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。

【0373】

また、振分け装置5において実施されるSf19の会員対ビジター振分け処理も、カードユニット3における会員対ビジター振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ150から振分け完了通知の受信した場合において制御部510は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更した後、第1カード挿入口504から振分け元の会員カードを排出して返却するとともに、第2カード挿入口505から振分け先のビジターカードを排出して返却し、表示装置501に、図29(d)に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第1挿入口LED506と第2挿入口LED507とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。10

【0374】

また、振分け装置5において実施されるSf20のビジター対ビジター振分け処理も、カードユニット3におけるビジター対ビジター振分け処理とほぼ同一であるが、管理コンピュータ150から振分け完了通知の受信した場合において制御部510は、振分け先のビジターカードの振分けフラグを振分け有りを示す「1」に更した後、第1カード挿入口504から、振分け玉数が持玉数から減算更新された振分け元のビジターカードを排出して返却するとともに、第2カード挿入口505から振分け先のビジターカードを排出して返却し、表示装置501に、図29(d)に示すように、「カードをお取り下さい。」のメッセージ表示をするとともに、第1挿入口LED506と第2挿入口LED507とを点滅点灯させて、該排出された各カードの取り出しを促し、該ビジター対会員振分け処理を終了する。20

【0375】

このようにして発行または返却された振分け先の会員カードまたはビジターカードは、カードユニット3に挿入されることで、持玉数に振分け玉数が加算されることで、該加算後の持玉数を払出しに使用することができるようになる。

【0376】

以上、本実施例によれば、振分けが、一般の遊技者が所有できる遊技用記録媒体であるビジターカードを受付けること、または、ビジターカードを発行することにより実施されるので、会員カードを所持していない一般の遊技者であっても、これらの振分けを受けることができるばかりか、これの振分けを簡便且つ正確に実施することができる。30

【0377】

また、本実施例によれば、所定期間となる例えば1日において振分けられる振分け玉数(遊技媒体数)を制限することができるので、過度に振分けが実施されることによる遊技場の不利益、例えば売上の減少等の発生を回避することができる。

【0378】

尚、上記した本実施例の説明では、集計対象期間を1日とした例を示したが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら集計対象期間に例えば3日間が設定されている場合であれば、振分け総数(全体)、振分け総数(振分け元)、振分け総数(振分け先)の集計にあっては、これら対象期間であるその当日を含む最近3日間に該当する日付を含む振分け履歴を集計の対象とすれば良いし、これら集計対象期間に例えば1週間が設定されている場合であれば、振分け総数(全体)、振分け総数(振分け元)、振分け総数(振分け先)の集計にあっては、これら対象期間であるその当日を含む1週間に該当する日付を含む振分け履歴を集計の対象とすれば良く、つまり、集計方法としては、集計対象期間に該当する日時情報を含む振分け履歴を集計の対象とすれば良い。40

【0379】

また、本実施例によれば、ホールコンピュータ(遊技情報管理装置)において振分け履歴を確認することができる。

【0380】

また、本実施例によれば、振分け玉数受付け画面において、持玉数から振り分ける玉数50

(振分け玉数)を遊技者から受付けているので、遊技者は、所望する玉数(遊技媒体数)を振分けることができる。

【0381】

以上、本発明の実施例を図面により説明してきたが、具体的な構成はこれら実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれる。

【0382】

例えば、前記実施例では、カード挿入口309を1つのみ有するカードユニット3を例示しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、図30に示すカードユニット3'のように、振分け装置5と同様に、2つのカード挿入口を有するようにして、振分け元のカードを受付け中のカード挿入口とは異なるカード挿入口に、振分け先のカードを受付けたり、或いは、振分け先のカードを発行するようにしても良い。10

【0383】

また、前記実施例では、カードユニットにおいて、カードが挿入されていない状態において紙幣を受付けた際に、必ずビジターカードを発行してプリペイド残額を記録するよう正在記述しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、たとえば、低額紙幣である100円を受付けた場合には、該100円に相当するパチンコ玉を全て、対応するパチンコ機2から払出させるようにすることで、ビジターカードを発行しないようにしても良い。20

【0384】

尚、これらビジターカードを発行しない場合にあっては、ビジターカードが受付け中でない状態において、計数済玉数が存在し、該計数済玉数を振分けに使用することが考えられるが、この場合には、これら振分けの処理に際してビジターカードを発行し、該発行したビジターカードを振分け元のカードとするようにしても良いし、本実施例のように、管理コンピュータ150のユニット管理テーブルにおいて、各カードユニット3の装置IDに対応付けて計数済玉数を記憶、管理している場合であれば、振分けの処理に際してビジターカードを発行せずに、該ユニット管理テーブルにおける計数済玉数から振分け玉数を減算更新して、振分け先のカードのカードIDを含む振分け履歴を振分け履歴に登録するようにしても良い。この場合においては、管理コンピュータ150においては、各所有遊技媒体数特定情報となる装置IDに対応付けて所有遊技媒体数となる計数済玉数を管理しているので、該装置IDが所有遊技媒体数特定情報に該当することとなる。30

【0385】

また、前記実施例では、カードユニット3におけるビジター用発行振分け処理において、受付け中のビジターカードを振分け先のビジターカードとして使用し、カード貯留部370に貯留されているビジターカードを振分け元のカードとするように、カードの入替えを実施しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら入替えを実施せずに、会員用発行振分け処理の場合と同じく、受付け中のビジターカードを振分け元のカードとし、カード貯留部370に貯留されているビジターカードを振分け先のカードとし、受付け中のビジターカードを一旦排出して、振分け先のビジターカードを発行し、再度、振分け元のビジターカードを受付けるようにしても良い。40

【0386】

また、前記実施例では、カードユニット3のカードリーダライタ327として、受付け中のカードをカード挿入口309から排出することなく、カード挿入口309側に退避させた状態で、カード貯留部370に貯留しているビジターカードを所定の読み出し位置に移動させて、当該ビジターカードの読み出しを実施できるようにしてあり、このようにすることは、振分け先のビジターカードを発行する際に、該発行するビジターカードのカードIDを読み出すために、受付け中のカードがカード挿入口309から排出されてしまうことがなく、これら発行するビジターカードの読み出しやデータの更新記憶が完了した状態まで、カードを内部に保持しておくことができることから、これら排出することに伴う不都合の発生を回避できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく50

、これら受付け中のカードをカード挿入口側に退避させる機能を有しないカードリーダライタとしても良い。

【0387】

また、前記実施例では、管理コンピュータ150において、会員の管理も実施するよう 10 しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら会員の管理については、個別のコンピュータにおいて実施するようにしても良い。

【0388】

また、前記実施例では、会員の貯蓄玉数として、当日に獲得した持玉数と前日以前に獲得した貯玉数とを個別に管理する形態を例示しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら、当日に獲得した玉数も一元的に貯玉数として管理するものであっても 10 良い。

【0389】

また、前記実施例では、繰返し利用されるビジターカードについても振分け元総数制限や振分け先総数制限の対象とするために、最新発行日時を管理して、各ビジターカードの振分け総数（振分け元）や振分け総数（振分け先）を正確に集計できるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらビジターカードについては、振分け元総数制限や振分け先総数制限の対象としないようにしても良い。

【0390】

また、前記実施例では、振分け玉数が持玉数の範囲内であるか否かの判定を、各カードユニット3または振分け装置5側において実施し、該判定において振分け玉数が持玉数の範囲内であることを条件に送信される振分け要求の受信に応じて振分けとなる、振分け履歴への登録を実施するようにしておる、このようにすることは、これら判定処理を分散して実施することで管理コンピュータ150の処理負荷を低減できることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらの振分け玉数が持玉数の範囲内であるか否かの判定を、管理コンピュータ150において、一元的に実施するようにしても良い。 20

【0391】

また、前記実施例では、ビジターカードと会員カードに振分けフラグを記憶する形態を例示したが、このようにすることは、これらビジターカードと会員カードが、利用受付けが完了していない、振分け後に初めて受付けられたカードであつて、これら利用受付けが完了していない振分け履歴の振分け履歴テーブルにおける検索が必要であるカードであるか否かを容易に特定できるようになり、これら検索が必要であるカードである場合のみにおいて振分け履歴の検索を実施することで振分け履歴の検索負荷を低減できるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分けフラグをビジターカードや会員カードに記録せずに、カードの受付け通知の受信時において、振分け後に初めて受付けられたカードであるか否かを、受信したカードの受付け通知のカードIDを含み、利用受付けが完了していない振分け履歴が振分け履歴テーブルに存在するか否かを一義的に検索して特定するようにしても良い。 30

【0392】

また、前記実施例では、振分けられた振分け玉数の加算更新を、振分け先のビジターカードや会員カードがカードユニット3に受付けられた時点において実施するようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分け玉数の加算更新を、振分け元の持玉数からの減算と同時に実施するようにしても良く、この場合にあっては、これら振分け玉数の加算更新された振分け先の持玉数の使用を、振分けフラグの記録に該当する利用受付けが完了していない当該ビジターカードや会員カードがカードユニット3の（会員）カードIDを含む振分け履歴が振分け履歴テーブルに登録されているか否かを判定し、該振分け履歴が登録されていることを条件に持玉数の使用を許可するようにすれば良い。

【0393】

また、前記実施例では、「半分」キーを選択入力した場合や、「1/4」キーを選択入力した場合において、割り切れない場合の端数は切り捨てるようにしているが、本発明は 50

これに限定されるものではなく、これらを切り上げるようしたり、四捨五入、或いは五捨六入等としたりするようにしても良い。

【0394】

また、前記実施例では、ビジターカードには持玉数データを記憶する一方、会員カードには、持玉数データや貯玉数データを記憶しないようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、ビジターカードと同じく、これら持玉数データや貯玉数データを会員カードに記録して、会員カードと管理コンピュータ150の双方にて、これら持玉数データや貯玉数データを管理するようにしても良いし、或いは、会員カード或いはビジターカードのみに持玉数データや貯玉数データを記憶して、管理コンピュータ150においては持玉数データや貯玉数データを管理しない構成としても良い。

10

【0395】

また、前記実施例では、計数センサ354によって計数を行うことができない場合には、流路切替え板353'を回動させて流入路350を塞ぐことにより、流入路350に侵入したパチンコ玉が、環流路351と流出路352並びに返却通路344を流下して返却口342に返却されるようにしているが、これら計数できない場合としては、具体的には、計数センサ354の異常(故障)がある場合や、ビジターカードや会員カードが挿入されていない場合等が、例示される。

【0396】

また、前記実施例では、振分け玉数を遊技者より個々に受付けるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら振分け玉数を、遊技場が管理コンピュータ150にて予め設定した一律の振分け玉数としても良い。

20

【符号の説明】

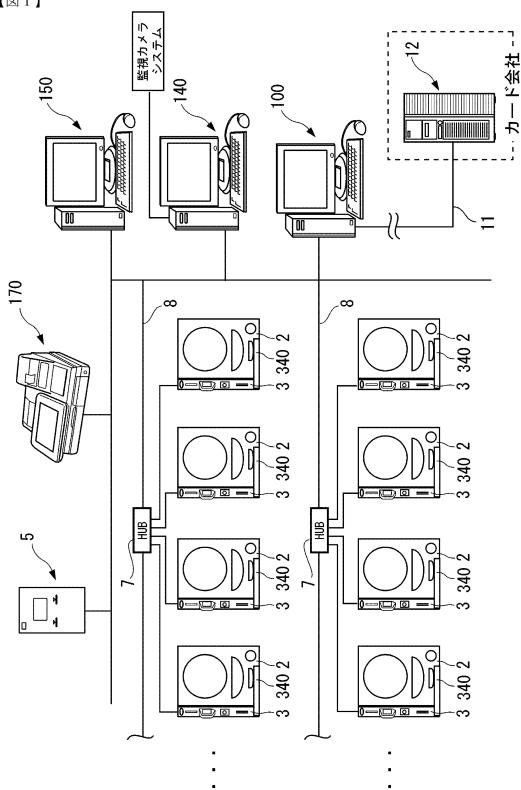
【0397】

2	パチンコ機	
3	カードユニット	
5	振分け装置	
100	システムコントローラ	
102	CPU	
105	記憶装置	
106	入力装置	30
107	表示装置	
109	通信部	
140	ホールコンピュータ	
150	管理コンピュータ	
152	CPU	
155	記憶装置	
156	入力装置	
157	表示装置	
170	景品交換POS端末	
309	カード挿入口	40
312	表示部	
314	透明タッチパネル	
315	IR受光ユニット	
321	紙幣識別ユニット	
327	カードリーダライタ	
328	制御ユニット	
334	通信部	
335	通信部	
348	計数・払出ユニット	
370	カード貯留部	50

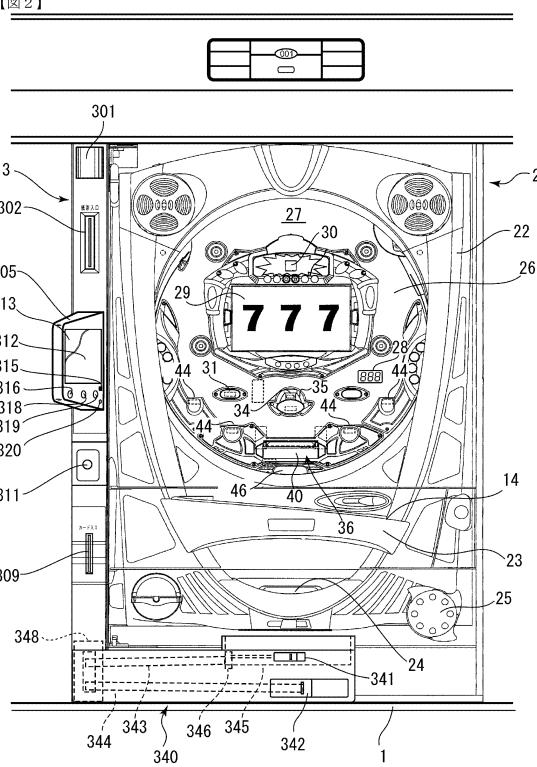
5	0	8
5	0	9
5	1	0

第1カードリーダライタ 第2カードリーダライタ 制御部

【図1】

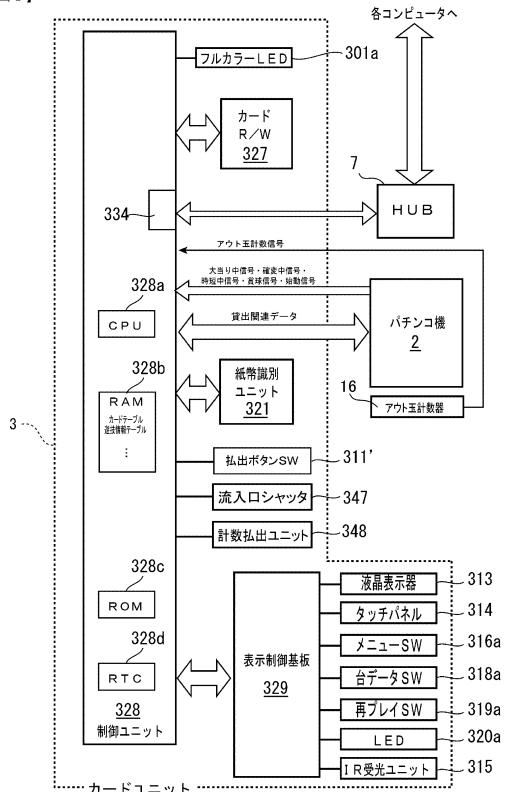


【図2】



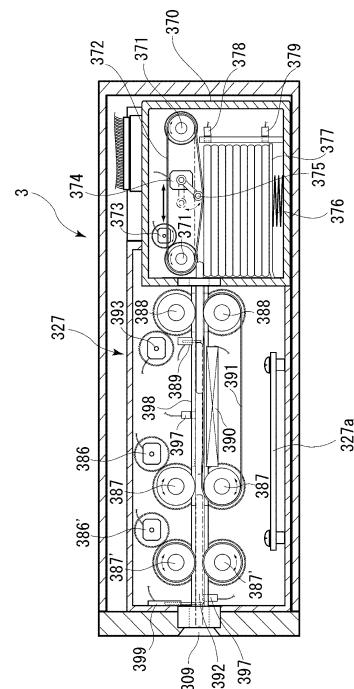
【図3】

【図3】



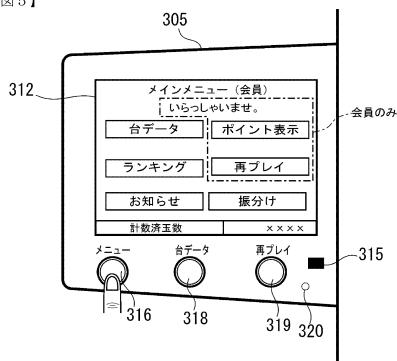
【図4】

【図4】



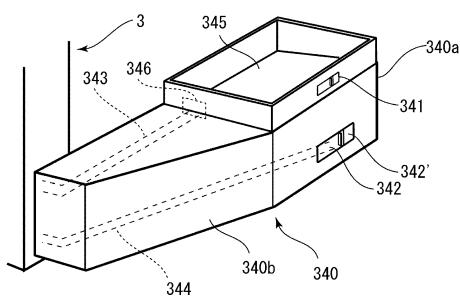
【図5】

【図5】



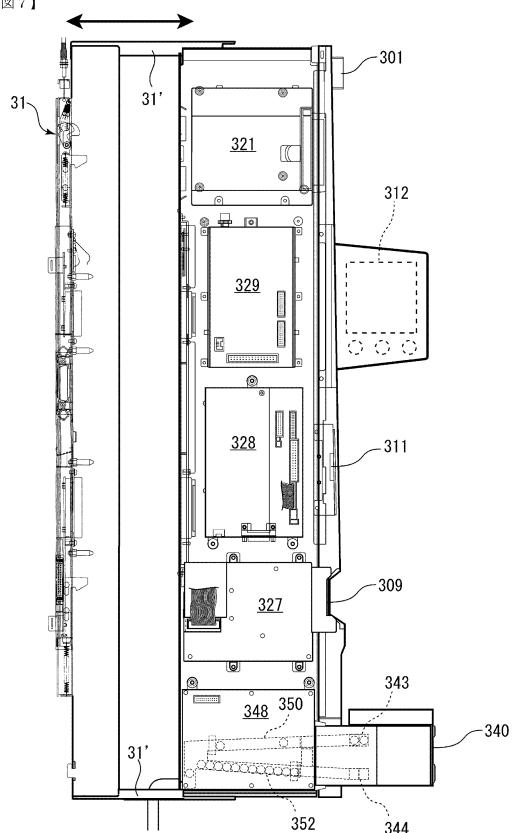
【図6】

【図6】



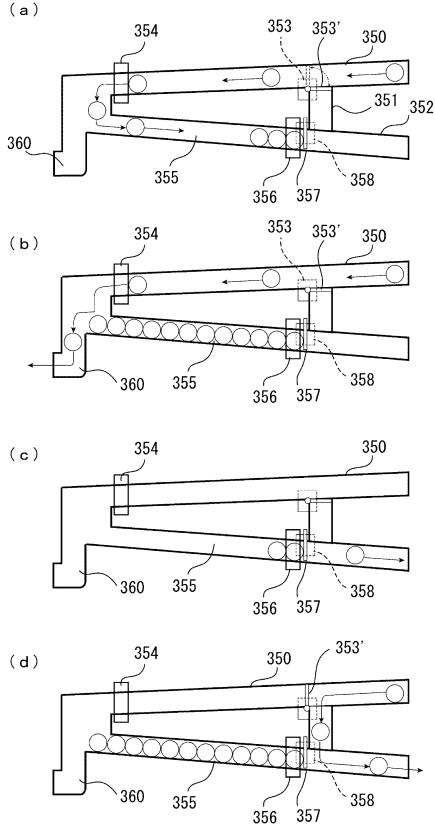
【図7】

【図7】



【図 8】

【図 8】



【図 9】

【図 9】

(a) カードテーブル

カードID	会員ID	暗証番号	プリベート残額	持玉数	貯玉数	未店ポイント数
-----	K-***	****	****	****	****	****

(b) 遊技情報テーブル

情報項目	本日データ	前日データ	前々日データ
遊技状態(現在)	通常(低確中)	—	—
遊技状態データ(現在)	000	—	—
遊技状態データ(前回)	100	—	—
総打込玉数	*****	*****	*****
総賞球数	*****	*****	*****
差玉数	****	****	****
総始動回数	*****	*****	*****
当り後始動回数	**	**	**
大当たり回数	**	**	**
確変回数	**	**	**
時短回数	**	**	**
連荘回数	*	—	—

(c) 会員遊技情報

開始時間	終了時間	遊技時間	始動回数	大当たり回数	確変回数	獲得玉数	支出金額	尚プレイ玉数	使用特玉数
:	**:**	**:**	***	*	*	*****	****	****	—

【図 10】

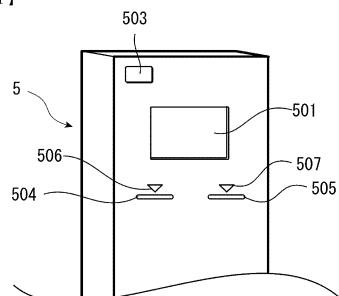
【図 10】

送信データ列

データヘッダ	装置ID	台番号	本日データ	ECC
101	100	100	100	100

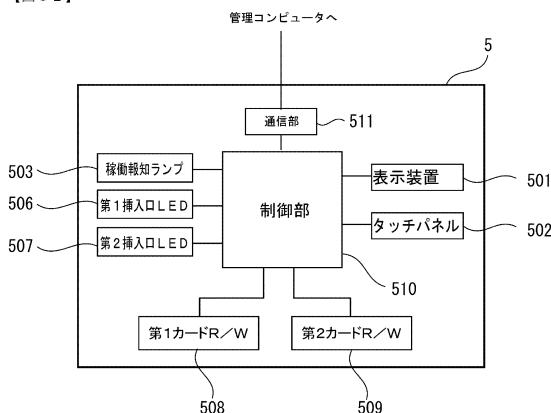
【図 11】

【図 11】



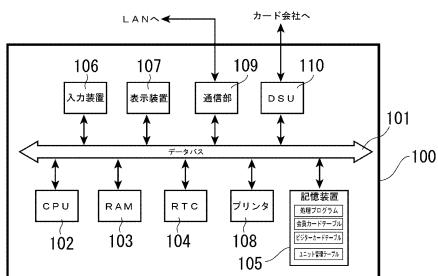
【図 12】

【図 12】



【図 13】

【図 13】



【図 14】

【図 14】

(a) 会員カードテーブル

カードID	会員ID	プリベート残額	使用不可
KC-XXXXXX1	K-00001	****	0
KC-XXXXXX2	K-00002	*****	0
:	:	:	:
:	:	:	:
VC-00000XXX	利用中	0Y/01/**:**	10000
VC-00000002	利用中	0Y/01/**:**	3000
VC-00000001	利用中	0Y/01/**:**	1000
VC-000ZZZZZ	保管中	-	0

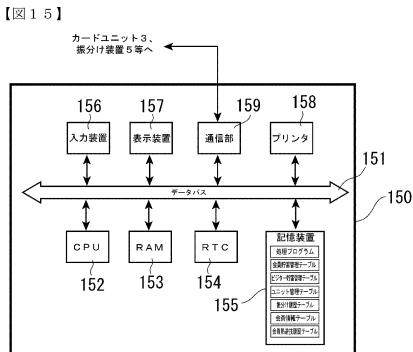
使用不可データ：「1」は使用不可、「0」は使用可

(b) ビジターカードテーブル

カードID	状況	最新発行日時	プリベート残額	使用不可
VC-00000001	利用中	0Y/01/**:**	10000	0
VC-00000002	利用中	0Y/01/**:**	3000	0
VC-00000001	利用中	0Y/01/**:**	1000	1
VC-000ZZZZZ	保管中	-	0	0

使用不可データ：「1」は使用不可、「0」は使用可

【図 15】



【図 16】

【図 16】

(a) 会員貯蓄管理テーブル

カードID	会員ID	持玉数	貯玉数
KG-XXXXXX1	K-00001	—	*****
KC-XXXXXX2	K-00002	****	*****
:	:	:	:
:	:	:	:

(b) ビジター貯蓄管理テーブル

カードID	最新登録日時	持玉数
VC-000000001	0Y/01/**:**	****
VC-000000002	0Y/01/**:**	0
:	:	:
VC-00000XXX	0Y/01/**:**	****
:	:	:
VC-000ZZZZZ	—	0

【図 17】

【図 17】
ユニット管理テーブル

装置ID	ローカルIP	設置場所	状況	対応台番号	受付ID	計数済玉数
CU-001	***.***.***.***	01	受付中	001	KC-*****	****
CU-002	***.***.***.***	01	受付中	002	VC-*****	****
:	:	:	:	:	:	:
CU-101	***.***.***.***	10	受付中	101	KC-*****	****
:	:	:	:	:	:	:

【図 18】

【図 18】

振分け履歴テーブル

日時	処理装置ID	振分け元カード	振分け先カード	発行	振分け玉数	利用受け付け
0Y/01/**:**	CU-***	KC-*****	VC-*****	1	****	1
0Y/01/**:**	FU-**	VC-*****	VC-*****	0	***	0
0Y/01/**:**	CU-***	KC-*****	KC-*****	0	****	1
0Y/01/**:**	CU-***	VC-*****	KC-*****	0	****	1
0Y/01/**:**	CU-***	VC-*****	VC-*****	1	****	0
:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:
:	:	:	:	:	:	:

【図 19】

【図 19】

会員ID	会員名	性別	年齢	誕生日	職業	郵便番号	所在地	メールアドレス
K-0001	ラック	B	0	5/6	会社員	*****@*****.***	*****@*****.***	
K-0002	花子	A	0	12/11	公務員	*****@*****.***	*****@*****.***	
:	:	:	:	:	:	:	:	
:	:	:	:	:	:	:	:	

(b) 会員別逆支履歴テーブル								
会員ID	来店日	台番号	機種名	開店時間	終了時間	譲り回数	獲得玉数	支出金額
K-0001	1回前 2007/09/01	***	機種A	***	***	*	***	—
	…	…	…	…	…	…	…	…
K-0002	1回前 2007/09/23	***	機種B	***	***	*	***	—
	…	…	…	…	…	…	…	…
	…	…	…	…	…	…	…	…
	…	…	…	…	…	…	…	…
	…	…	…	…	…	…	…	…

【図 20】

【図 20】

157

振分け設定

■集計対象期間 □1日 □△

・振分け総数制限 する しない
 遊戻購全体
 [*****] 玉

・振分け元上限制限 する しない
 会員カード
 ビジターカード
 [10000 玉]
 [5000 玉]

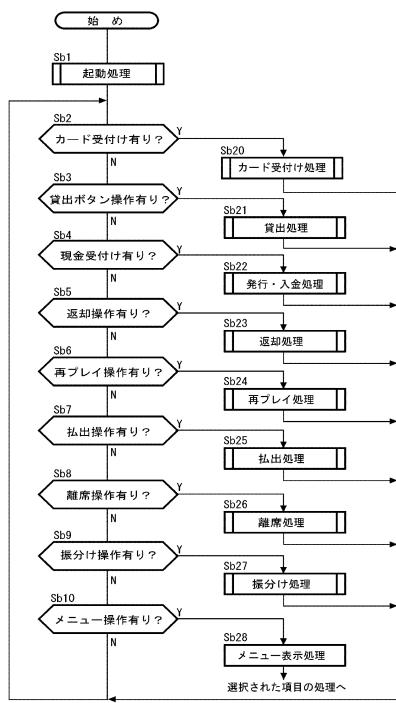
・振分け先上限制限 する しない
 会員カード
 ビジターカード
 [10000 玉]
 [5000 玉]

・連続振分け制限 する しない

リセット 設定 0

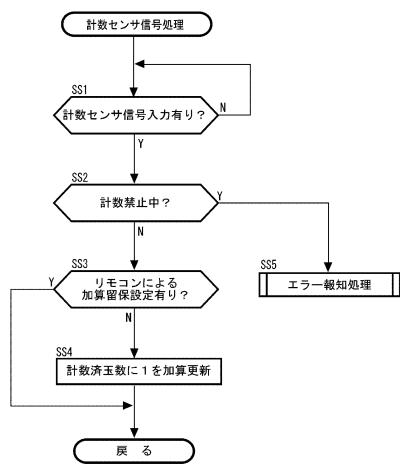
【図21】

[図21]



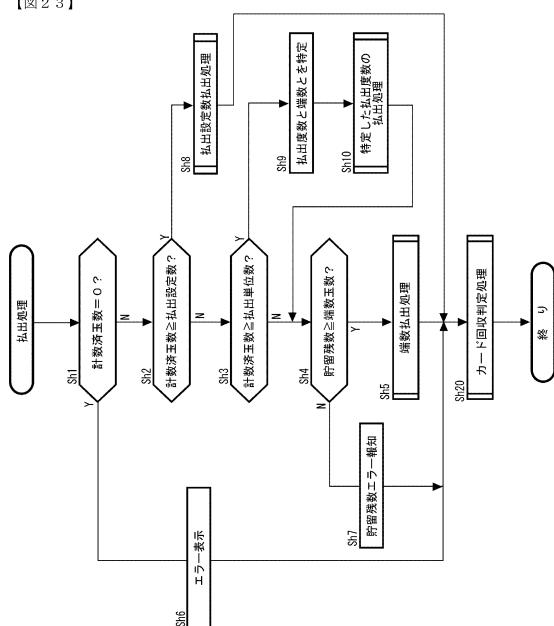
【図22】

[図22]



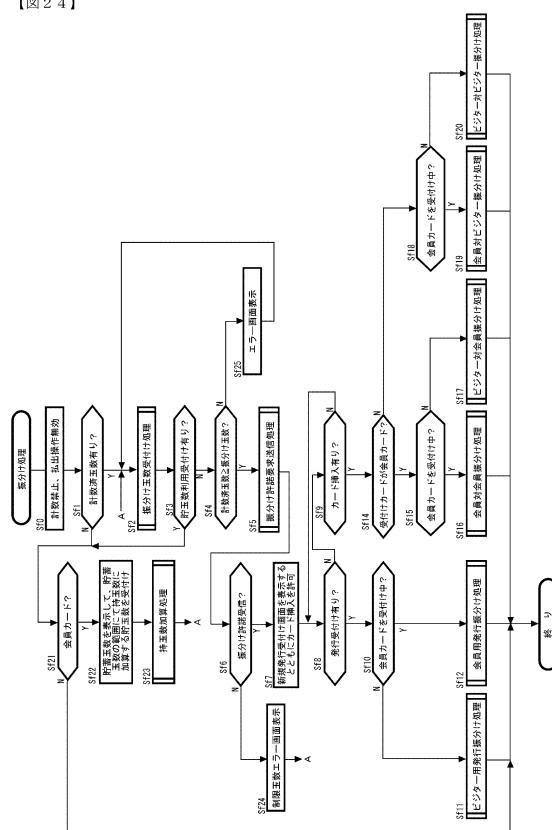
【図23】

[図23]

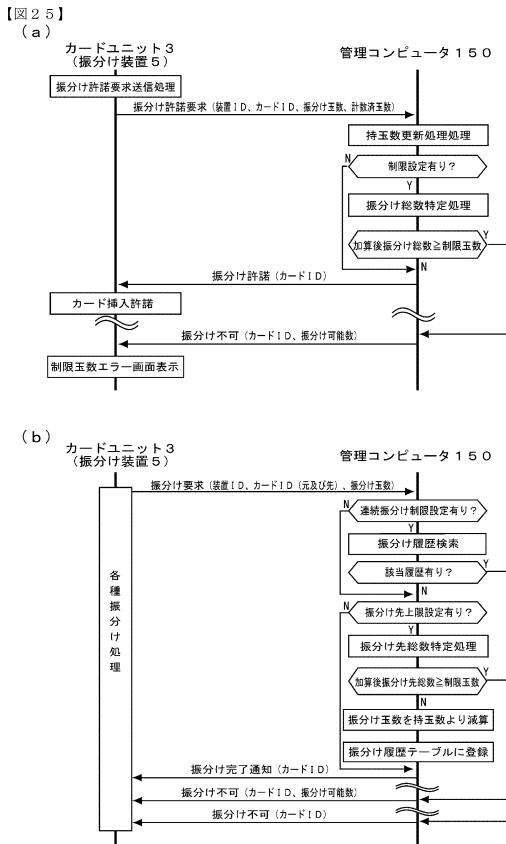


【図24】

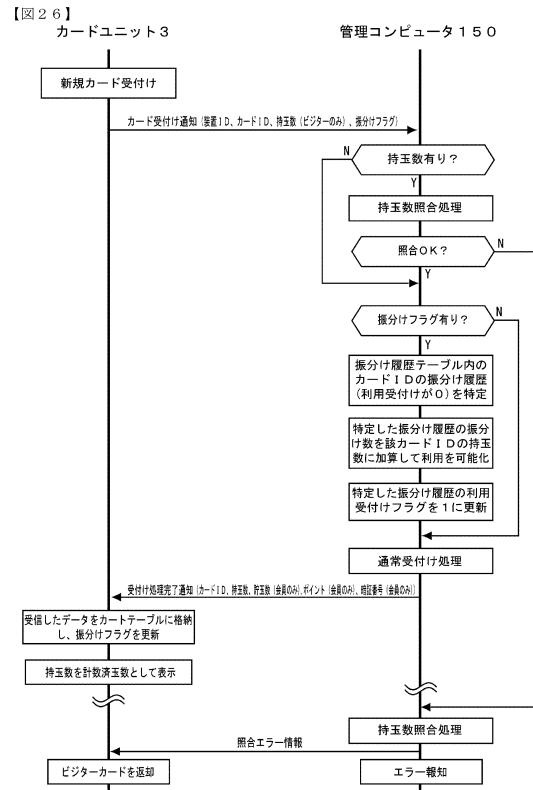
[図24]



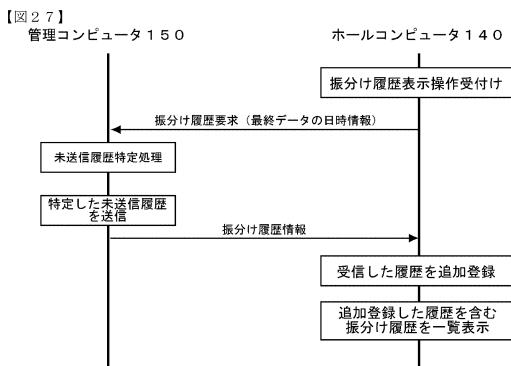
【図25】



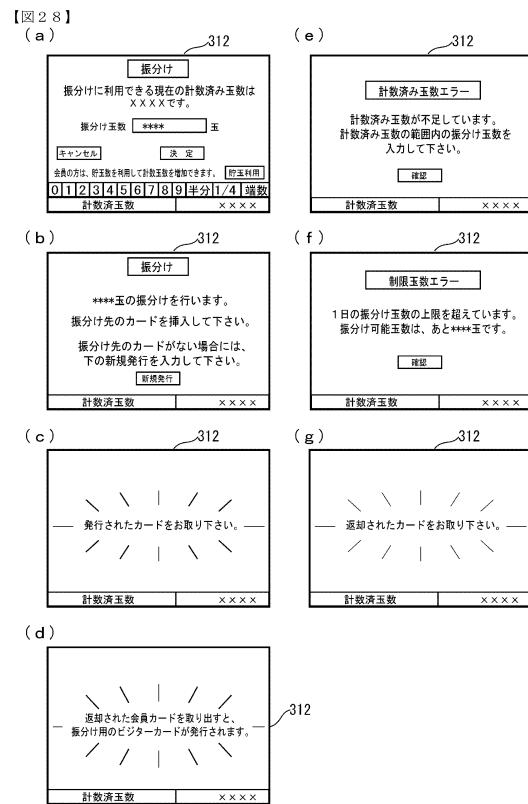
【図26】



【図27】



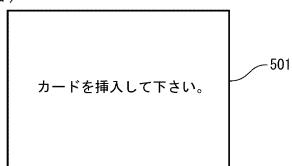
【図28】



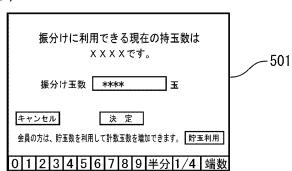
【図 2 9】

【図 2 9】

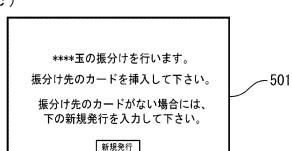
(a)



(b)



(c)

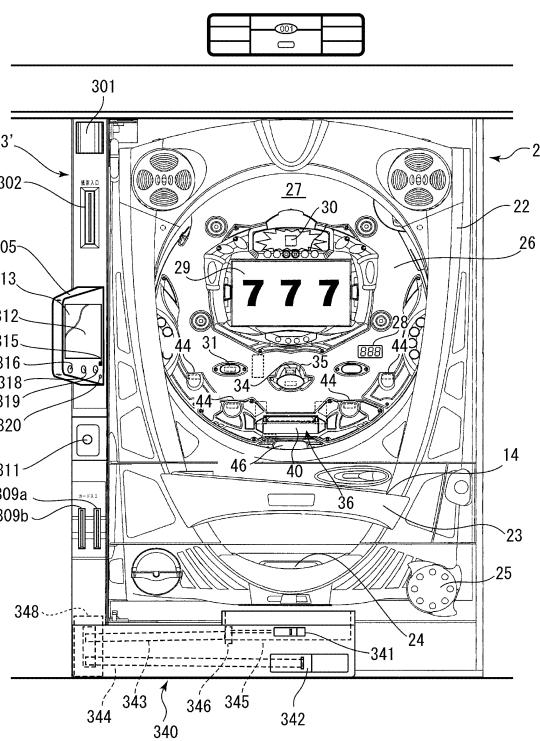


(d)



【図 3 0】

【図 3 0】



フロントページの続き

(74)代理人 100156535

弁理士 堅田 多恵子

(72)発明者 小倉 敏男

東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号 株式会社三共内

審査官 田畠 覚士

(56)参考文献 特開2007-209677(JP,A)

特開2004-141524(JP,A)

特開2003-019333(JP,A)

特開2001-224827(JP,A)

特開2006-305011(JP,A)

特開2007-152132(JP,A)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A 6 3 F 7 / 0 2